

高知県立大学 健康栄養学部

学部報

第4号

平成25(2013)年度

学部報第4号発刊にあたって

—健康栄養学部完成年度—

高知県立大学

健康栄養学部長 和田 安彦

生活科学部健康栄養学科が健康栄養学部に昇格し、新しい校舎に移転、定員も40名に増員となつてから4年が経ちました。3月には新学部の卒業生も巣立ち、業界用語で言う「完成年度」を無事終えたということになります。本冊子はこの完成年度である平成25年度（2013年度）の教育・研究活動をまとめたものです。これを作成するためには時間と労力、費用が必要ですが、個々の教員と学部全体を振り返るための貴重な資料です。

いろいろな形で大学や教員の評価が行われるようになってきました。すなわち、大学の7年ぶりの外部評価が平成26年度から27年度にかけて行われます。また、教員評価も平成26年度から本格導入されようとしています。これらのために本冊子は貴重な基礎資料となるはずですが、それはそれとして、まずは個々人が自身の「大学人」としての活動を見直すために本冊子を活用いただければ幸いです。

平成25年度の学部の歩みを振り返りますと、4月には新しい教授を迎え、16名の教員体制で教育研究活動が始まりました。他大学の良い点を取り入れ、例えば管理栄養士国家試験対策の強化を行いました。これにより、この合格率が例年より大幅に上昇するといった成果につながったと考えています。8月末の医療センター合同防災訓練では、「食」や生存の基本である「水」の確保と処理について学部として提案し、貯水槽や浄化槽の相互見学を実現しました。従来の「炊き出し」とは違った視点からの「食」に関する地域貢献が出来たと考えています。12月には公開講座「高齢者の支援と死生観」を開催しました。高知県は人口あたりの病床数や1人あたり医療費が全国一高く、高齢化率が同程度の県と比べてもそれらが突出していることから、高齢者の延命治療など過剰診療が比較的多いことが疑われます。これが真実としたら、医療職の雇用確保面では良くても、高齢者にとっては大変不幸なことです。過剰診療を防ぐためには高齢者本人と家族および医療者にそれぞれの「死生観」をしっかりと持っていただくことが重要と考えられます。このために本公開講座を企画しましたが、講演後新聞報道もされ、さらに草の根の議論の輪の広がりが見られるなど、地域への貢献は大きかったと考えています。年度末には高速カラーA3両面印刷機（電子ソーター付き）を導入し、視聴覚教材作成環境を改善すると共に、耐震工事を実習室、実験室に施行しました。

完成年度の過ぎた学部は、ある程度学部の裁量でカリキュラムや人員配置等の変更が可能となります。教職員の研修を奨励していくとともに、これまで指摘されてきた教学上の課題を克服する方向でカリキュラム編成を変更していく予定です。その際、全学的に導入される予定のCAP制度や長期履修制度、共通教養教育科目の再編、地域から学ぶ「域学共生」制度などを視野に入れながら改変していかななくてはなりません。改革には産みの苦しみを伴うこともあります。しかし、より良い教育により「批判的思考の出来る自立した社会人」を育成する、という理想を実現するために努力していこうではありませんか。

健康栄養学部の教育理念・目的

(理念)

第1条 高知県立大学健康栄養学部は、高知県立大学学則第1条に定める目的を達成するため、以下の理念のもとに設置する。

人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。

(目的)

第2条 高知県立大学健康栄養学部は、第1条の理念のもと、以下の各号の目的を達成するために、教育研究を行う。

1. 人間や健康、環境の本質を理解する能力の養成

ヒトの健康を規定する人間や環境の本質を理解する能力を養成する。

2. 専門的知識・技術、科学的思考力の養成

健康の保持増進、傷病の回復、予防のために必要な専門的知識と実践的知識・技術を養成し、それらを通じて科学的思考力を養う。

3. 社会の変化を予測し、異業種と協働して問題を解決する能力の養成

変化する社会にあって、要求される事柄を察知し、管理栄養士として他の保健医療職者と連携を取りながら、積極的に問題を解決することのできる能力を養う。

4. 豊かな人間性を培う

自らの専門性にたちながら主体的に広く教養を身につけ、社会構成員としての求められる公共性や倫理観を養い、共生社会の実現に必要な真に豊かな人間性を培う。

5. 地域に貢献できる能力の養成

地域の特性を生かした教育・研究を通じ、地域社会の健康の保持増進、傷病の回復、予防のために貢献できる能力を養成する。

目 次

学部報第4号発刊にあたって	i
健康栄養学部の教育理念・目的	ii

I. 学部の記録

1. 2013年度学生数一覧	3
2. 長期在学、休学、退学の状況	3
3. 健康栄養学部教員一覧	3
4. 授業科目と教員配置	4
5. 外部資金の導入	5
6. 研究成果の公表の状況	6
7. 国内外学会等への参加	8
8. 講習会・公開講座	11
9. 地域・学外の活動	11
10. 国際交流委員会活動	15
11. 国家試験対策委員会	17
12. 学部就職支援	18
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動	22
14. 高知医療センター・高知県立大学包括 的連携協議会 健康栄養連携部会事業	23
15. 健康栄養学部リカレント講座	25
16. 委員会一覧	26
17. 入学試験状況の概要(2014年度)	26

II. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数	29
2. 教育における学外施設の利用状況	30
3. 資格所得状況の概要(2013年度)	30
4. 国家試験の合格者状況(新卒)	31
5. 就職状況の概要	31
6. インターンシップの実施状況 (2013年度)	31
7. 学生の海外研修等(2013年度)	31
8. 2013年度卒業研究題目一覧	32
9. 学生の受賞	33
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的 な事項の一覧	33

III. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 和田 安彦	37
2. 川村 美笑子	38
3. 中村 富予	39
4. 逸見 幾代	41
5. 村上 尚	43
6. 渡邊 浩幸	44
7. 荒牧 礼子	46
8. 川口 順子	47
9. 島田 郁子	48
10. 西岡 道子	50
11. 廣内 智子	51
12. 田中 守	53
13. 沼田 聡	55
14. 水島 直子	57
15. 彼末 富貴	58
16. 川村 真美	59

I. 学部の記録

1. 2013 年度学生数一覧
2. 長期在学、休学、退学の状況
3. 健康栄養学部教員一覧
4. 授業科目と教員配置
5. 外部資金の導入
6. 研究成果の公表の状況
7. 国内外学会等への参加
8. 講習会・公開講座
9. 地域・学外の活動
10. 国際交流委員会活動
11. 国家試験対策委員会
12. 学部就職支援
13. ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動
14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業
15. 健康栄養学部リカレント講座
16. 委員会一覧
17. 入学試験状況の概要 (2014 年度)

1. 2013 年度学生数一覧

在学学生数						科目等履修生
1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	5 回生～	合計	
41 (3)	41 (3)	41 (1)	39	0	162 (7)	0

() 内：男子

2. 長期在学、休学、退学の状況 (2013 年度)

年次別休学者数	年次別退学者数	長期履修者数 (5～7 年)
1	0	0

3. 健康栄養学部教員一覧

職 名	氏 名	専門分野 (担当科目)
教 授 (学部長)	和田 安彦	健康生態学・公衆衛生学
教 授	川村 美笑子	栄養学
教 授	中村 富予	臨床栄養学
教 授	逸見 幾代	栄養教育論
教 授	村上 尚	人体の構造と機能
教 授	渡邊 浩幸	食品学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学
准教授	川口 順子	被服学
講 師	島田 郁子	給食経営管理
講 師	西岡 道子	調理学
講 師	廣内 智子	臨床栄養学臨地実習
助 教	田中 守	生化学・栄養学実験
助 教	沼田 聡	給食経営管理実習
助 教	水島 直子	臨床栄養学実習
助 手	彼末 富貴	調理学実習
助 手	川村 真美	食品学実験

4. 授業科目と教員配置

科目名	担当者
基礎科目	
健康栄養学基礎	和田安彦, 村上尚, 渡邊浩幸
健康栄養学応用	川村美笑子, 團野哲也
社会・環境と健康	
地域健康論	和田安彦
介護論	和田安彦, (非)森岡美帆
食と介護	和田安彦, (非)森岡美帆
保健医療福祉論	田中きよむ
地域医療論	未開講
公衆衛生学	和田安彦
環境衛生学実習	和田安彦
健康情報論実習	和田安彦
こころと身体活動	(非)網師本真季
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	
生化学Ⅰ	川村美笑子, (非)清澤秀孔
生化学Ⅱ	(非)清澤秀孔
生化学実験	(非)富永麻理
人体の構造と機能Ⅰ	村上尚
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚
臨床医科学	村上尚, 和田安彦
疾病論Ⅰ	村上尚
疾病論Ⅱ	村上尚
運動生理学	(非)大倉三洋
生体科学実験・実習	村上尚
食べ物と健康	
食品学	渡邊浩幸
食品学実験	渡邊浩幸
食材学	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸
食品衛生学	渡邊浩幸
食品衛生学実験	渡邊浩幸
フードシステム学	(非)中西三紀
調理学	西岡道子
調理学実習Ⅰ	西岡道子
調理学実習Ⅱ	西岡道子
調理学実習Ⅲ	西岡道子
調理科学実験	西岡道子
基礎栄養学	
基礎栄養学	川村美笑子
基礎栄養学実験	川村美笑子
応用栄養学	
応用栄養学Ⅰ	川村美笑子
応用栄養学Ⅱ	川村美笑子
応用栄養学実習	逸見幾代
ライフステージ栄養学	逸見幾代
栄養教育論	
栄養教育論Ⅰ	逸見幾代
栄養教育論Ⅱ	逸見幾代

科目名	担当者
栄養教育論Ⅲ	逸見幾代
栄養教育論実習Ⅰ	逸見幾代
栄養教育論実習Ⅱ	逸見幾代
学校栄養指導論Ⅰ	逸見幾代
学校栄養指導論Ⅱ	逸見幾代
臨床栄養学	
臨床栄養学Ⅰ	中村富予
臨床栄養学Ⅱ	中村富予
臨床栄養学Ⅲ	中村富予
臨床実践栄養学	中村富予
臨床栄養学実習Ⅰ	中村富予
臨床栄養学実習Ⅱ	中村富予
公衆栄養学	
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子
公衆栄養学Ⅱ	荒牧礼子
地域公衆栄養学実習	荒牧礼子
給食経営管理論	
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
給食経営管理実習Ⅰ	島田郁子
給食経営管理実習Ⅱ	島田郁子
総合演習	
管理栄養士総合演習Ⅰ	中村富予, 荒牧礼子, 島田郁子
管理栄養士総合演習Ⅱ	未開講
臨地実習	
給食経営管理臨地実習	島田郁子
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	中村富予
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	中村富予
地域公衆栄養学臨地実習	荒牧礼子
地域実践栄養学臨地実習	中村富予, 荒牧礼子, 島田郁子
関連科目	
生活経営学(生活経済学を含む)	井本正人
家族関係論	池添志乃, 時長美希, 嶋岡暢希, 升田茂章
保育学(実習及び家庭看護を含む)	(非)川崎育郎, 宮上多加子
衣生活学	團野哲也, 川口順子
服飾造形実習Ⅰ	川口順子
服飾造形実習Ⅱ	川口順子
住居学(製図を含む)	宇野浩三
家庭機械・家庭電気	團野哲也
その他	
企業実習	学年担当教員
課題研究	
卒業研究	各専任教員

他学部教員・下線 非常勤・(非)

5. 外部資金の導入

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額(千円)
2013年度学術研究助成基金助成金(挑戦的萌芽研究) 課題番号: 24650481	高風味・高栄養価の野菜類を非常・災害食として利用するための野菜類の保存技術の確立	渡邊浩幸	—	2012 ～ 2014	総額 1,560千円
2013年度科学研究費補助金(基盤研究(B)) 課題番号: 25282013	エシカルな3次元エルダーファッションシステムの構築	増田智恵(三重大学教育学部教授)	上田博之(大阪信愛女学院短期大学看護科教授), 松平光男(金沢大学学校教育系教授), 後藤景子(奈良女子大学生生活環境学部教授), 田川由美子(大阪産業大学経営学部教授), 與倉弘子(滋賀大学教育学部教授), 土肥麻佐子(大妻女子大学短期大学部家政科准教授), 川口順子, 村上かおり(広島大学教育学研究科准教授), 團野哲也(高知県立大学生活科学部准教授)	2013 ～ 2015	
2013年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 課題番号: 70347657	体形と筋負担を考慮したパーソナルファッションのための基礎的研究	村上かおり(広島大学教育学研究科准教授)	増田智恵(三重大学教育学部教授), 川口順子	2011 ～ 2013	総額 3,380千円
科学研究費補助金若手研究(B) 課題番号:	牛乳由来ペプチドはアレルギー症状及び発症を抑制できるのか	田中守		2013 ～ 2014	総額 4,030千円
厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)(2013-循環器等(生習)-一般-003)	追跡終了後コホート研究を用いた共通化データベース基盤整備とその活用に関する研究	玉腰暁子	文部省がんコホート研究: JACC Study 班員(和田安彦)		

助成機関名	研究課題名	研究代表者	共同研究者	年度	助成額(千円)
高知県産学官連携産業創出研究推進事業	県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	渡邊高志 (高知工科大学地域連携機構教授)	金哲史(高知大学農学部教授), 渡邊浩幸, (株)フタガミ, 高知県工業技術センター	2011 ~ 2013	19,200 千円
高知県産学官連携産業創出研究推進事業(育成研究支援)	漁獲物の高付加価値化を目指した魚類ストレス度測定装置の開発	渡邊浩幸	宮田剛(高知工業高等専門学校機械工学科)	2013	1,000 千円

6. 研究成果の公表の状況

(1) 学術論文

著者	タイトル	雑誌名(発行所)	巻ページ	発行年
Naohiro Gotoh, Toshiharu Nagai, Kazuaki Yoshinaga, Hoyo Mizobe, Hiroyuki Watanabe	Comparison of catabolic rates of fatty acids using stable isotope and isotope-ratio mass spectrometry	Lipid Technology	25(5), 110-112	2013
Kitamura F, Watanabe H, Umeno A, Yoshida Y, Kurata K, Gotoh N	Oxidized trilinoleate and tridocosahexaenoate induce pica behavior and change locomotor activity	J. Oleo. Sci.	62(4), 207-212	2013
Reiko Aramaki, Yoshiteru Akezaki, Mizuho Nonomura	The effect of lifestyle habit factors on visceral fat accumulation in working people	The Journal of Mibyou Sustain Association	Vol. 20, (1), pp1-7	2014
Nishimura Y, Maeda M, Kumagai-Takei N, Lee S, Matsuzaki H, Wada Y, Nishiike-Wada T, Iguchi H, Otsuki T	Altered functions of alveolar macrophages and NK cells involved in asbestosis-related diseases	Environ Health Prev Med.	18, pp.198-204	2013
Maruyama K, Iso H, Dat C, Kikuchi S, Watanabe Y, Wada Y, Inaba Y, Tamakoshi A; JACC Study Group	Dietary patterns and risk of cardiovascular deaths among middle-aged Japanese	JACC Study. Nutr Metab Cardiovasc Dis.	23, pp.519-27	2013
隅田有公子, 川村美笑子	Mg欠乏食-甘味料溶液継続接種がマウス脳内セロトニン濃度に及ぼす影響	Trace Nutrients Research	30, 58-63	2013

著者	タイトル	雑誌名 (発行所)	巻ページ	発行年
西村栄恵, 逸見幾代, 土海一美	青年成人期にある若年者の食生活調査第3報—食育手法を検討するために—	松山東雲短期大学研究論集	第43	2013
嶋田さおり, 桑村光香, 西村栄恵, 岡村絹代, 逸見幾代, 若林良和	栄養教育論を中核とした食育推進の現状と課題—愛媛県を事例として—	松山東雲短期大学研究論集	第43	2013
天野信子, 佐藤能啓, 林田憲昌, 加藤恵子, 大塚豊子他, 中村富予	重症アルツハイマー病における栄養障害の検討：特に低蛋白血症の病態生理について	帝塚山大学人間環境科学	22, pp. 23-27	3013
田中守, 廣内智子, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤厚	Reactive Dyeを用いたヒヨコ血清アルブミン機能評価の検討	四国公衆衛生学会雑誌	59, pp. 77-83	2014
廣内智子, 田中守, 島田郁子	震災経験が全国自治体の食糧備蓄体制に及ぼした影響	日本病態栄養学会	印刷中	2014
廣内智子, 田中守, 島田郁子, 荻沼一男	東日本大震災直後における被災者の食糧供給に関する経日的変化—マスメディア画像からの分析—	日本災害食学会	印刷中	2014
松井欣也, 金本郁美, 中島浩司, 玉村宣尚, 田中守, 廣内智子	重症心身障害児（者）の腎結石症に対するクランベリージュースの効果	日本重症心身障害学会誌	38巻, 1 号: 143-147	2013
松井欣也, 大幸聡子, 廣内智子, 杉本信子, 藤原政嘉, 日本栄養士会	東日本大震災における栄養士の活動と今後の取り組み	日本災害食学会	印刷中	2014
田中守, 根津俊大, 吉本好延, 岡本威明	マウスにおける卵白リゾチーム感作モデル系の確立	高知県立大学健康栄養学部研究紀要	63, pp. 1-8	2014

(2) 著書

著者	タイトル	出版社	発行年
逸見幾代, 佐藤香苗 編	マスター栄養教育論 第2版	建帛社	2013
本田佳子編 逸見幾代他	Trainee Guide 栄養食事療法の実習 栄養ケアマネジメント 第9版	医歯薬出版	2013
日佐和夫, 仲尾玲子編著 島田郁子 (pp. 156-165) 衛生学	管理栄養士・栄養士のための食品安全	学文社	2014

(3) その他、報告書等

氏名	タイトル	名称、機関、発行所	発行年
高知医療センター・高知県立大学包括的連携健康栄養連携部会	慢性腎臓病（CKD）患者さんのための食事療法手引き	高知医療センター・高知県立大学包括的連携健康栄養連携部会	2014
川口順子 共著	選び・着て・装い・管理できるファッションブル衣生活ーエコ&ユビキタスマイライフスタイルの実現ー 担当分：色と安全性 p. 75-76、女子大生の色彩意識調査 p. 128-131、高齢者の色彩弁別能力 p. 131-134	三重大学出版会	
田中守 監修	おいしく減塩「即席カップ麺の減塩対策」	土佐ガス Life NAVI, 秋号	2013
彼末富貴 共著	平成 26 年度版ファミリー日誌	全国農林統計協会連合会	2013

7. 国内外学会等への参加

(1) 国内学会開催

第 22 回日本脂質栄養学会大会（高知市 2013 年 9 月 6～7 日）大会長 渡邊浩幸

(2) 国内学会発表

発表者	題目	学会名	開催日	場所
逸見幾代, 吉村加奈, 越智泉, 西村栄恵, 丸山広達, 斉藤功	地域の健康づくりと保健事業からみた食習慣と生活習慣病の関連と予防 第 4 報ー高血圧と糖尿病と食事バランス	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
丸山広達, 吉村加奈, 逸見幾代, 斉藤功	ビタミン D 摂取とインスリン抵抗性・感受性との関連：東温スタディ	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
嶋田さおり, 西村栄恵, 岡村絹代, 逸見幾代	学生による食育推進活動の実践とその効果	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
東温市健康推進課, 逸見幾代, 嶋田さおり, 西村栄恵, 斉藤功	域食育推進計画と実施状況についてー東温市食育推進計画中間評価について～成人期	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
西村栄恵, 逸見幾代, 土海一美	青年成人期にある若年者の食生活調査～食育手法を検討するために～第 4 報	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
吉村加奈, 丸山広達, 逸見幾代, 斉藤功	血中β連:東温スタディカロテン濃度と生活習慣との関	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸

発表者	題目	学会名	開催日	場所
和田安彦	指定発言, シンポジウム「エビデンスに基づく産業栄養の実現に向けて」	第 86 回日本産業衛生学会		松山
中村富予, 逸見幾代, 天野信子, 爲房恭子	入院患者の食事データを用いた文献検索結果について	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
加藤恵子, 大塚豊子, 中村富予, 渡邊香織, 天野信子	アルツハイマー病(AD)における栄養障害の検討:特に栄養管理面での障害対応策について(予報)	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
山本尚, 荒牧礼子, 名村真梨菜, 山岡知美, 笹岡あゆみ, 石川麻衣, 首藤ひとみ, 池添志乃, 池田光徳	健診に基づく児童の現状と生活習慣病予防に繋がる指導項目の検討	第 59 回四国公衆衛生学会	2014. 2. 6 ～7	高知市
竹山育子, 爲房恭子, 達妙美, 吉田和希, 中村富予	在宅難病患者支援における訪問栄養指導の効果についての検討	第 60 回日本栄養改善学会	2013. 9. 12 ～14	神戸
中村富予, 多門隆子, 水野淨子, 山口繁, 角谷勲, 竹山育子	地域住民の年代別食生活と身体組成との関連	第 72 回日本公学衛生学会	2013. 10. 2 3～25	三重
吉田和希, 爲房恭子, 中村富予, 竹山育子, 達妙美	在宅胃瘻管理を初めて行う患者家族への栄養士介入事例	第 72 回日本公学衛生学会	2013. 10. 2 3～25	三重
小築康弘, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 大里(笹田)怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸	発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果	第 67 回日本栄養・食糧学会大会	2013. 5. 24 ～26	名古屋
川村真美, 川北浩久, 前川美智子, 渡邊浩幸	カヤ種子タンパク質の抽出と加工食品への応用	第 67 回日本栄養・食糧学会大会	2013. 5. 24 ～26	名古屋
伊藤幸彦, 奥原康英, 中島友里, 喜瀬光男, 川村真美, 渡邊浩幸	米糠由来ステロール配糖体が脂質代謝、糖代謝に及ぼす影響	日本脂質栄養学会第 22 回大会	2013. 9. 6 ～7	高知市
小築康弘, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 笹田怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸	発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果	日本脂質栄養学会第 22 回大会	2013. 9. 6 ～7	高知市
渡邊浩幸, 島田郁子, 岡崎康展, 岡田英, 萩沼一男	高知県立大学における産官学連携	産学連携学会第 11 回大会	2013. 6. 20 ～21	盛岡市
村上かおり, 増田智恵, 川口順子	日常生活動作に伴う着心地評価と筋負担の関係について—男子大学生のジャケット着用時の場合—	日本家政学会第 65 回大会	2013. 5. 17 ～19	東京

発表者	題目	学会名	開催日	場所
團野哲也, 大野早智, 川口順子, 村上かおり	明治初期に使用された合成染料の特定ー中村喜一郎著 実地染色法を読み解くー	日本家政学会 第 65 回大会	2013. 5. 17 ～19	東京
團野哲也, 川口順子, 村上かおり	1873 年ウィーン万国博覧会における日本政府出品の繊維製品についてー旧信濃国からの出品物と府県博覧会ー	日本衣服学会 第 65 回年次大会	2013. 11. 9 ～10	長野
島田郁子, 豊福肇, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 日佐和夫	給食経営管理実習における衛生管理レポートの分析	第 62 回日本食品保蔵科学会学術総会	2013. 6. 15 ～16	山形
島田郁子, 廣井三紀, 沼田聡, 藤原沙貴, 木村優美, 倉尾美咲, 平川智依, 宇賀玲実, 松井慶子	在宅支援を受けている人々の食生活の実態とその課題	第 9 回給食経営管理学会学術総会	2013. 11. 9 ～10	千葉
沼田聡, 島田郁子	授業アンケートを活用した実践的な給食経営管理実習の内容検討 (第 3 報)	第 9 回給食経営管理学会学術総会	2013. 11. 9 ～10	千葉
島田郁子, 式地麻湖, 東田里穂, 杉沢江里子, 田中守, 沼田聡, 南部満, 下元和恵, 高橋正二郎	中土佐町大野見地区における地域農業活性化の試みー学生プロジェクトを通じてー	第 59 回四国公衆衛生学会学術総会	2014. 2. 6 ～7	高知市
松井欣也, 大幸聡子, 廣内智子, 杉本信子, 日本栄養士会	東日本大震災における支援活動報告 (気仙沼市・石巻市) ー栄養士の取り組みと今後の課題ー	日本災害食学会第 1 回研究発表会	2013. 12. 1 4	東京
廣内智子	東日本大震災直後における被災者の食事に関する経日的変化ーマスメディア画像からの分析ー	第 17 回日本病態栄養学会	2014. 1. 11 ～12	大阪
水島直子, 長瀬貴子, 濱田結花, 森真由子, 高松和永	糖尿病患者の食習慣と食嗜好についての検討	第 17 回日本病態栄養学会年次学術集会	2014. 1. 11 ～12	大阪
荒牧礼子, 石川麻衣, 首藤ひとみ, 水島直子, 池田光徳	小学校児童における生活習慣の現状および健康管理の意識強化を目的とした習慣づくりに関する項目の検討	第 20 回日本未病システム学会学術総会	2013. 11. 9 ～10	東京

8. 講習会・公開講座

タイトル	講師	主催	開催日	場所	対象
健康栄養学部公開講座 「高齢者の支援と死生観」	老人ホーム「同和園」附属診療 所長中村仁一	高知県立大学 健康栄養学部, 健康長寿セン ター	2013. 12. 14	高知県民文化 ホール（グリ ーン）	一般
2013 年度教員免許状更新 講習会（家庭科）	川村美笑子, 和 田安彦, 川口順 子, 宇野浩三	高知県教育委 員会	2013. 8. 8	高知県立大学	家庭科 教員
高知県立大学健康教育講 座「自分に足りない栄養 素をセルフチェック！」	中村富予	高知県立大学	2013. 5. 30, 6. 4	高知県立大学	高知県 立大学 学生
慢性腎臓病（CKD）の料理 教室	中村富予, 渡邊 慶子, 廣内智 子, 水島直子他	高知医療セン ター・高知県立 大学包括的連 携健康栄養学 連携部会	2014. 3. 15	高知県立大学	慢性腎 臓病 （CKD） 治療中 患者、 家族

9. 地域・学外の活動

(1) 講師活動

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
第 56 回高知県家庭科教育連 合会研究大会「産業衛生や 生活安全のために重要であ る生活科学の基礎学力」	和田安彦	第 56 回高知県 家庭科教育連 合会研究大会 研究報告集	2013. 12. 7	高知大学	家庭科教 員等
高知県保育士会総会「地域 に根ざした食教育」	川村美笑子		2013. 5		
第 1 回健康食品管理士会四 国支部総会・研修会「健康 食品の使用と利用を栄養学 視点から考える」	川村美笑子	健康食品管理 士会四国支部	2013. 7. 28	高知医療セ ンターくろ しおホール	一般
産業保健研修会（産業医認 定講座）「暮らしの食とメ ンタルヘルス」	川村美笑子	高知県医師会	2013. 7	高知県産業 保健推進セ ンター	
子ども条例フォーラム in 四万十市立中央公民館	川村美笑子	高知県	2013. 12. 2 2	四万十市立 中央公民館	
尿酸値が高めの方の食事ア ドバイスについて（e-ラー ニング 30 分間視聴覚教材）	中村富予	MP ラーニング	2013.		

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所	対象者
食物アレルギーの現状と対策～安全な生活のために～	島田郁子, 田中守	土佐市	2013. 7. 16	土佐市特別 養護老人ホ ームとさの 里	土佐市保 育職員
学校給食衛生管理研修	島田郁子	土佐市	2013. 10. 2	土佐市特別 養護老人ホ ームとさの 里	学校給食 担当者等
第 57 回中国・四国地区乳児院研究協議会講演「非常時の食と健康」	廣内智子	中国・四国地区 乳児院研究協 議会	2013. 9. 11	松山	
高知県布師田小学校地域合同防災キャンプ，講演「非常食の話，何をどれだけ，何日分のストック？」	廣内智子		2013. 11. 2 2	布師田小学 校	
南海地震に向けた災害食の取り組みについて	田中守	愛媛大学教育 学部	2014. 1. 20	愛媛大学教 育学部	愛媛大学 学生
専門分野（糖尿病）における質の高い看護師育成事業「食事療養の支援のための基本」	水島直子	公益社団法人 高知県看護協 会受託事業（実 施主体：高知 県）	2013. 9. 9	高知県看護 協会	高知県看 護協会員
第 29 回高知糖尿病チーム医療研修会シンポジスト「糖尿病患者の食習慣についての検討」	水島直子	高知糖尿病チ ーム医療研修 会	2013. 6. 2	高知市民文 化プラザか るぼーと	医師，歯科 医師，看護 師，薬剤 師，臨床検 査技師，管 理栄養士， 保健師等
日本脂質栄養学会 市民公開講座「土佐の伝統食・魚食」	彼末富貴	日本脂質栄養 学会	2013. 9. 7	高知県民文 化ホール （グリーン）	一般
第 3 回中央西地区食生活改善推進協議会研修会研修会「高知の伝統食について」	彼末富貴	日中央西地区 食生活改善推 進協議会	2014. 3. 11	佐川町健康 福祉センタ ーかわせみ	食生活推 進員
ソーレまつり 2014 親子で ご飯づくり～魚料理をつく ってみよう～	彼末富貴	NPO 法人ポレ ール	2014. 1. 25	ソーレ	親子

(2) 高大連携・地域との共同事業

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
出前授業	村上尚	高知小津高校	2013. 6. 27	高知小津高校
模擬授業「臨床栄養学ー栄養状態のアセスメントー」	中村富予	高知県立丸の内高校	2013. 12. 2	高知県立丸の内高校
高知大学土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業(土佐 FBCⅡ)	渡邊浩幸	土佐フードビジネスクリエーター (FBC) 人材創出	2013. 8. 30	高知大学物部キャンパス
	西岡道子		2013. 11. 22	
子育て応援団すこやか 2013	島田郁子, 沼田聡	RKC 高知放送	2013. 7. 27～28	高知ちばさんセンター
とさし 夏休み科学☆ものづくり体験ツアー『「生活の中の科学」～食を中心として～』	渡邊浩幸, 田中守, 沼田聡	土佐市	2013. 7. 28	高知県立大学池キャンパス
土佐市宇佐地区特定検診結果説明会「食生活に関するアンケート調査結果について」	田中守	土佐市	2013. 8. 30	USA くろしおセンター
土佐市宇佐地区特定検診結果説明会「食生活に関するアンケート調査結果について」	田中守	土佐市	2014. 1. 10	USA くろしおセンター
人材育成セミナー「食のテキスト作り」	荒牧礼子	土佐市地域雇用創出推進協議会	2013. 12. 6	土佐市
とさっ子健診	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2013. 7. 31, 12. 14	土佐市保健センター
健康長寿公開講座 体験セミナー「健康長寿につながる町づくり」	荒牧礼子	高知県立大学健康長寿センター	2013. 12. 15	本山町プラチナセンターふれあいホール
健康長寿公開講座 講演「認知症予防のための栄養バランスの良い食生活」, 体験セミナー	荒牧礼子, 沼田聡	高知県立大学健康長寿センター	2013. 11. 23	香美市立中央公民館
健康長寿公開講座 体験セミナー「介護疲れを癒そう!」	沼田聡	高知県立大学健康長寿センター	2013. 12. 21	佐川町健康福祉センターかわせみ
こうち子育て応援フォーラム 2013 「親子でスリム教室」	水島直子	高知県	2013. 11. 4	イオンモール高知

タイトル	氏名	主催	開催日	開催場所
高知県水産物 PR キャンペーン「親子おさかな料理教室」	彼末富貴	高知県	2013. 8. 3, 10. 5, 11. 2, 12. 7, 2014. 2. 1	高知市中央卸売市場
学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～	島田郁子, 田中守, 沼田聡	高知県立大学 地域教育センター	2013 年度	中土佐町大野見地区他
高知県食品産業研究会チーフアドバイザー	渡邊浩幸	高知県	2013 年度	
高知県事業診査アドバイザー	渡邊浩幸	高知県	2013 年度	
日本野菜ソムリエ協会 野菜ソムリエ養成講座	荒牧礼子	日本野菜ソムリエ協会	2013 年度	
高知県産業振興推進部地産地消・外商課主催 食品加工生産管理高度化研修 助言者	島田郁子	高知県, 高知県立大学地域教育センター	2013 年度	
嶺北地区アクションプラン嶺北高校「Reihoku Youth Neighbors」新商品開発への協力	彼末富貴	嶺北高校	2013 年度	高知県立大学, 嶺北高校

10. 国際交流委員会活動

島田郁子

2012年11月27日、マレーシア国立サバ大学において、同大学と本学の国際交流協定覚書の署名式が、双方の学長他代表者の出席のもと行われた。この協定締結により、本年度は健康栄養学部として、初めてサバ大学学生を受け入れた。彼女らの熱心な勉学態度に、学生を始め教員の多くが刺激を受けた。日本文化については学部教員の支援を受け、茶道、着付け、和装小物の作成を行った。学生とは実習、実験等を通じ交流し、研究室訪問で親睦を深めることができた。

今後は、安定した住居確保、日本語の訓練、プログラムの開発等を行い、日本からの派遣も実現させ、交流を継続していく予定である。

1. 活動方針

- ①留学生確保のための受入環境の整備（留学生用宿舎等の検討）と留学生向け広報の充実
- ②既存の国際交流協定校との交流（学生の派遣及び外国人留学生の受入）の推進
- ③新たな協定校の開拓および各学部・研究科単位の交流プログラムの開発
- ④留学に関する学生への情報提供（HP等の活用）及び留学支援
- ⑤学生の日常的な交流の活性化

2. 活動内容

- ①留学生確保のための広報の作成と日本語学校への発送・訪問
- ②留学生受入のための留学生宿舎等の検討
- ③イタリア・ベネツィア（カ・フォスカリ）大学との相互交流（文化学部）
- ④インドネシア国立ガジャマダ大学（UGM）と大学間交流協定を締結（DNGL）

2013年11月5日、双方の代表者（学長）が署名を完了し、交流協定を締結した。

- ⑤マレーシア国立サバ大学からの学生の受入プログラム開始（健康栄養学部）

健康栄養学部ワーキングチームを中心にサバ大学から留学生の受入（6/21～8/21）を行った。

食品科学・栄養学部 3年生 Chang Vui Shuang、Leong Qian Xin の2名。

学内の実験や演習への参加および病院や施設実習等の含む専門的なプログラムを実施し、管理栄養士養成に必要な教育研修の1部を実施した。また健康栄養学部内及び学内での研修成果の報告会を行った。

- ⑥学生の渡航（国外派遣）に関する安全管理マニュアルの作成と全学への周知

大学の管轄下における渡航（協定校への留学・研修、その他の学部・研究科での海外研修）に関して携行する安全管理マニュアルを作成し、ホームページで公開した。

3. 2013年度活動実績

協定校	エルムズ大学		北京旅游学院	文藻外語学院	CSUN
期間	短期(2週間)	長期	長期1年間	長期1年間	1年間
受入	10名	1名	1名	2名	—
派遣	7名	—	—	2名	2名

受入留学生の状況

2013. 4～2014. 2	北京聯合大学旅游学院、文藻外語大学	文化学部	北京 1、文藻 2
4. 2～6. 14	ヴェネツィア“カ・フォスカリ”大学	文化学部	ヴェネツィア 10
5. 25～6. 7	エルムズ大学短期研修生	文化学部	エルムズ 10
6. 2～8. 23	サバ大学短期研修生	健康栄養学部	サバ 2
9. 9～1. 10	エルムズ大学学期研修生	文化学部	エルムズ 1

4. 今後の課題

- ①私費外国人留学生の受入体制整備を行う。
- ②留学生拡大に向けた広報活動
- ③学生の交換留学や研修の活性化
- ④大学のグローバル化：英語での授業の実施に向けて FD 研修会・グループワーク・学部への支援
- ⑤エルムズ大学短期研修（派遣）引率教員の継続的な確保

11. 国家試験対策委員会

中村富予, 廣内智子, 水島直子

1. 主な活動内容

管理栄養士の資格取得のためのサポートとして、平成 25 年度は全国統一模擬試験を 3 回生および 4 回生を対象に年 7 回実施した。3 回生では苦手分野の把握を目的に、4 回生では得点率 60% を目標に実施した。その他、外部講師による国家試験対策講座を年 5 回開催した。学生は積極的に講座に参加し、苦手分野の解き方や勉強方法を身に付け、苦手科目・不得意科目の克服を目指した。

また、1 月の学内国家試験対策講座では、各科目担当教員が基礎的内容から国家試験問題の解説まで徹底指導に取り組んだ。1 月には、成績が伸び悩む学生（得点率 50% 以下）を対象に面談を行い、今後の勉強方法についてアドバイスをを行った。その他、国家試験受験願書説明会等を開催し、合格までのサポートを行った。

2. 国家試験対策（2013 年度 年間活動内容一覧）

実施日	内容	受講及び受験者数（名）			
		3 回生	4 回生	外部	合計
4. 24（水）	国家試験対策の説明会	40	39	0	39
5. 7（火）	合格発表に合わせて、手続き関連の連絡	2012 年度の卒業生			
6. 8（土）	全国統一模擬試験（第 1 回 RDC）	38	31	0	69
6. 28（金）	RDC 特別講演会	41	39		80
7. 6（土）	全国統一模擬試験（第 1 回日本医歯薬）	0	33	2	35
7. 23（火）	日本医歯薬研修協会キックオフガイダンス		30		30
9. 28（土）	全国統一模擬試験（第 2 回日本医歯薬）	0	38	4	42
10. 5（土）	RDC 秋期基礎対策講座	13	14	13	40
11. 2（土）	全国統一模擬試験（第 2 回 RDC）	37	38	14	89
11. 4（祝）	東京アカデミー国家試験対策講座	37	28	7	72
11. 23（土）	全国統一模擬試験（第 3 回日本医歯薬）	0	37	5	43
1. 6～31	各科目担当教員による国家試験対策講座 （50 回）		38		38
1. 7（火）	国家試験受験願書説明会		38		38
1. 11（土）	全国統一模擬試験（第 3 回 RDC）	40	38	15	93
1. 25（土）	全国統一模擬試験（第 4 回日本医歯薬）	0	39	7	46
2. 15（木）	RDC 超直前国家試験対策講座	0	23	16	39

3. 第 28 回管理栄養士国家試験

実施日：2014 年 3 月 23 日（日）

合格発表：2014 年 5 月 9 日（金）

受験者数：38 名

合格率：97.4%

12. 学部就職支援

川村真美, 渡邊浩幸

1. 活動内容

1) 全学的取り組み

本学では、池・永国寺両キャンパスのキャリアセンターに就職相談員が配置され、教員と共に就職に関する指導と支援をしている。キャリアセンター(愛称: ワクワク Work!!)の相談員は、年次を問わず、就職に関する様々な質問や相談に応えている。就職活動に関する個別相談、企業への提出書類のチェックや模擬面接の実施等、安心して就職活動に取り組めるよう、一人ひとりの学生に手厚い指導・サポートを行っている。また、知りたい情報がいつでも自由に閲覧できるよう、ワクワク Work!!には病院、施設、企業関連の資料や公務員の募集要項、就職関連図書などを豊富に揃えている。また、求人実績のある企業や医療・福祉関係を中心に、先輩の有無・就職試験の傾向と対策などの情報を入手できる。さらに、ほぼ全員の卒業生が残した詳細な就職活動の記録である就職活動報告書があり、後輩学生の参考になっている。また、ワクワク Work!!主催の就職必勝講座やSPI 模擬試験など就職活動活性化のためのガイダンスが数多く実施されており、ガイダンスへの積極的な参加を呼びかけ就職活動の活性化を図っている。

2012年度に引き続き、ハローワーク高知の“大卒就職ジョブサポーター”1名が、毎週2回月曜日・水曜日の午後、池キャンパスのキャリアセンターに来て、学生の個別相談を受ける体制であり、就職活動の支援が強化されている。また、大卒ジョブサポーターによって高知県のみでなく全国の採用情報が効率的に多く提供されるようになり、就職活動の活性化に繋がっている。

また平成24年度に引き続き、キャリアセンターによる健康栄養学部3回生を対象とした就職ガイダンスが実施され、学部の適性に合った就職ガイダンス(5月27日)が行われた。

2) 学部の取り組み

2008(H20)年度より学部独自に2名の就職担当教員を配置している。就職担当教員は学部主催の就職セミナーを企画・開催し、学年担当教員・卒業研究指導教員・キャリア支援部会員と連携して就職を支援した。教員間で密に連絡を取り、就職活動の活性化を促し、個別に提出書類の添削・指導を行い、求人情報の提供などの支援を行った。ワクワク Work!!職員と3・4回生学年担当教員は、4月末に担当学年学生の就活についての情報や学生の性格・近況などについて情報交換の話し合いを持ち、情報の共有に努めた。3月まで内定の取れなかった学生には、特に個別に就職担当委員と卒業研究指導教員が話をする機会を設け、近況を聞きアドバイスを行い、学生が自ら希望職種の範囲を広げた結果、内定に繋がった。

またワクワク Work!!主催の就職ガイダンスへの積極的な参加を促した。本学部学生はワクワク Work!!主催の就職ガイダンスのうち27講座に参加した。以下にワクワク Work!!および学部が主催した就職支援企画への本学部学生の参加実績を示す。

年 月 日	キャンパス	タイトル	対 象	健康栄養学生参加数
2013. 4. 8	池	オリエンテーション	3回生	40
			4回生	34
2013. 4. 15	池	高知県教員採用試験説明会	4回生	8
2013. 4. 19	池	日本生命保険相互会社 会社説明会	4回生	1
2013. 4. 22	池	教員採用試験公開模試	2・3・4回生	10
2013. 5. 13	池	《新》ハローワーク登録会in池	4回生	8

2013. 5. 18	池	公務員ガイダンス	全学年	2
2013. 5. 25	永国寺	公務員ガイダンス	全学年	3
		教員ガイダンス	全学年	4
2013. 5. 27	池	健康栄養学部3回生就職ガイダンス	3回生	40
2013. 6. 21	永国寺	就活リスタートセミナー	4回生	1
2013. 6. 24	池	R-CAP (適職検査) 受検会	2・3回生	10
2013. 7. 1	池	リクルートファッション&メイク講習会	2・3・4回生	9
2013. 7. 5	池	第1回進路相談会②	4回生	1
2013. 7. 20, 21	永国寺	就職必勝・実践W I N講座 Part1	3回生	16
2013. 7. 22	永国寺	R-CAP解説会&自己分析の仕方	2・3回生	8
2013. 8. 14	池	教員採用試験2次審査 模擬授業・面接会	4回生	1
2013. 10. 31	池	「就活」スタート直前セミナー	3回生	35
2013. 11. 18	池	エントリーシート(履歴書)の書き方講座	3回生	33
2013. 11. 25	池	SPI模擬試験 (マークシート版)	全学年	9
2013. 11. 30	池	健康栄養学部第1回就職セミナー ～卒業生を迎えて～	全学年	113
2013. 12. 14	大阪	合同会社説明会バスツアー	3回生	26
2014. 1. 20	永国寺	《新》全労済説明会	3回生	1
2014. 1. 25	永国寺	就職必勝・実践W I N講座Part2	3回生	1
2014. 1. 26, 27	池	就職必勝・実践W I N講座 in 池	3回生	11
2014. 2. 3	池	《新》模擬面接会 in 池	3回生	6
2014. 2. 8	永国寺	《新》公務員総合ガイダンス	1・2・3回生	8
2014. 2. 8	池	健康栄養学部第2回就職セミナー ～健栄 教えて!先輩～	全学年	117
2014. 2. 9	高知市	公務員試験模擬試験	全学年	3
2014. 2. 15	永国寺	《新》3大学合同グループディスカッション	3回生	3
2014. 3. 1, 2	池	就職必勝・実践W I N講座 in 池 Part II	3回生	1

学部独自の就職セミナーは、2008年度より開催しており、2013年度は2回開催した。学部学生を対象として社会で活躍中の卒業生5名を講師に招いて11月に、また内定が決まった4回生9名を講師に2月に実施した。学部1～3回生90%以上が参加し、参加率は非常に高かった。参加感想アンケートによると、就職活動の活性化になり、就活への不安を軽減するだけでなく、日々の授業での勉学の重要性の認識や国家試験勉強の動機付けにも繋がり、よい効果を与えていることが窺えた。下記にその詳細を示す。

【学部主催就職セミナー】

2013年度第1回健康栄養学科就職セミナー ～卒業生を迎えて～

2013年11月30日(土)9:30～13:00

講師：本学部卒業生5名

谷川実穂さん(2012年度卒業、香川県永生病院管理栄養士)

岩佐千紘さん(2010年度卒業、サントリービジネスエキスパート(株))

古谷裕子さん（2008年度卒業、高知県梶原町管理栄養士）
田内ほたかさん（2008年度卒業、高知県栄養教諭）
谷村由衣さん（2008年度卒業、高知市近森病院管理栄養士）

卒業生を講師に迎え、仕事の内容や就活での経験や管理栄養士国家試験の勉強法などを発表してもらった。それぞれの職種についての理解が深められるように努めた。

参加者：1回生 39名(95%)、2回生 34名(85%)、3回生(37)90%、4回生 3名、教員 3名、ワクワク職員 3名、参加総数 119名。

1～3回生の参加率は高く、質問も活発にあり盛会であった。参加の感想として、先輩方の話は非常に良かった、将来やりたいことが見えてきた、今から勉強をしっかりと将来に役立てていきたいと思った、様々な職種の業務内容が分かりとても勉強になったなどがあり好評であった。

講師 5名のうち 3名は卒業 5年目の行政管理栄養士、栄養教諭、急性期病院の管理栄養士で、卒業 1年目にも就職セミナーの講師を務めてくれたが、今回はそれぞれの専門職での経験が深まり、業務内容や仕事に対する意識などをわかりやすく学生に伝えてくれ、より充実した内容であった。卒業生にこの間の大きな成長が窺われた。



2013年度第2回健康栄養学部就職セミナー ～健栄 教えて先輩！～

2014年2月8日(土)13:30～17:30

講師：4回生就職内定者 9名

後藤薫歩さん(病院管理栄養士)
関塚結さん(病院管理栄養士)
伊井彩乃さん(社会福祉施設管理栄養士)
平川智依さん(社会福祉施設管理栄養士)
菊元萌さん(給食委託会社管理栄養士)
木村優美さん(給食委託会社管理栄養士)
林田実華さん(行政管理栄養士)
山本尚さん(栄養教諭)
清水梨沙さん(一般企業)

種々の職種の内定を勝ち取った 4回生 9名に、就活の経過や勉強法、その職種を選んだ理由、管理栄養士国家試験対策の勉強法などを発表してもらった。4回生の学生数が 40名と増えたため、講師を 2013年度の 5名より増やし 9名とした。

参加者：1回生 34名(83%)、2回生 36名(90%)、3回生 38名(93%)、4回生 9名、教員 3名、参加総数 120名。

1～3回生の参加率は高く、質問も活発にあり盛会であった。参加の感想として、貴重な話を聞くことができ非常に良かった、講師全員の方から刺激を受け私も頑張ろうと思った、就活を頑張っ
て乗り切ろうという思いが強くなった、やりたいこと自己分析をもう一度まとめようと思った、
教員採用試験が終わってからも病院の内定をもらえた先輩のお話で少し不安がなくなったなど
があり好評であった。



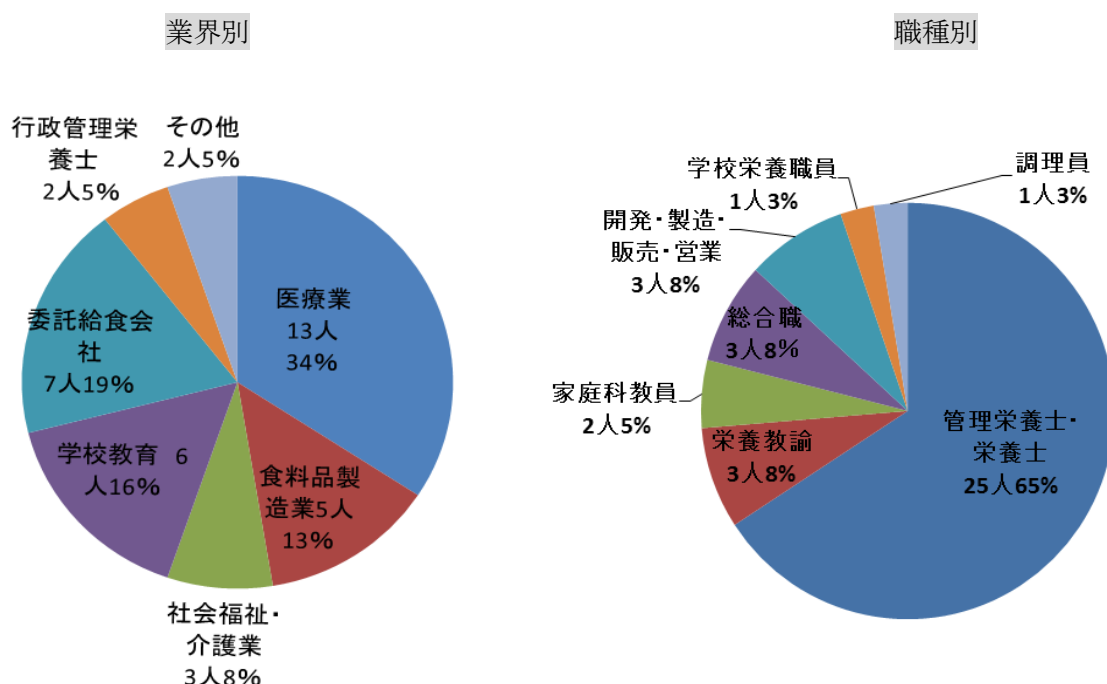
2. 成果

2014年度3月の卒業生は39名であり、進学者1名を除き、就職希望者38名全員が内定し、就職内定率は100%であった。学部就職担当教員・ワクワクWork!!職員・ジョブサポーター・卒業研究担当教員・学年担当教員・学部キャリア支援部会員の連携した支援・個別指導が、内定を取ることに繋がった。またジョブサポーターによる全国ハローワークにおける大学新卒者への採用状況の迅速な情報提供などのきめ細かな個別支援も100%の内定に繋がった。

2013年度は4回生の定員が20名から40名に倍増した初めての年であり、就職内定率がこれまでのように100%に達するか危惧されたが、本年も100%となり、卒業生全員に社会への第一歩を踏み出させることが出来た。学部独自の就職セミナーを開催し6年目を迎え、就職活動の活性化、内定の獲得に効果が上げていると感じる。

内定先の業界別および職種別内訳を示す。

2013年度



3. 2014年度の課題

学生が就職できるか、またどこに就職できるかは、学部の果たす大きな使命の一つである。健康栄養学部教員はキャリアセンター(ワクワクWork!!)と密に連絡を取り協力しあって、学生数が2倍になった平成25年度も就職内定率100%を達成した。ワクワクWork!!職員は、学生一人一人の性格に合ったきめ細かい就職支援をし、手厚くサポートしており、就職内定率100%になったのもワクワクWork!!職員の力によるところが大きいと感じている。キャリアセンターのもつ役割は大きく、本学部学生も篤い信頼を寄せている。

2014年度も就職希望者全員内定を維持するために、キャリアセンターの充実を望むとともに、健康栄養学部としてキャリアセンターと連携を図り、学部就職担当教員・学年担当教員・卒業研究指導教員およびキャリア支援部会員の協力体制を充実させ、学生一人一人の特性に合った個別指導をしていくことが重要であると考えます。また学生に就職に対する動機づけとなり刺激を与えている学部主催の就職セミナーを、学生の要望を反映させて充実した形で実施する。

13. ファカルティ・デベロップメント (FD) 活動

廣内智子

1. FD 活動のハイライト

内容	講師	開催年月日
社会人基礎力 PROG 分析結果説明会	石川純一（株式会社リアセック キャリア総合研究所）	2013. 5. 20
胚性幹細胞（ES 細胞）と神経細胞分化系を用いたゲノム刷り込みの解析	清澤秀孔（高知大学医学部・環 境医学 特任准教授）	2013. 7. 22

2. 社会人基礎力 PROG

2013年4月19日(金)に健康栄養学部1生回生(41名全員)、2回生(40名全員)、3回生(希望者19名)を対象に社会人基礎力テスト「PROGテスト」を実施しました。『社会人基礎力』は、経済産業省が提唱する「職場や地域社会の中で、多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要となる基礎的な能力」と定義され、具体的には、『行動能力』に通じる「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の能力要素によって評価されます。この「PROGテスト」では個人の性格、好み、興味、姿勢、動機を踏まえ「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力から『社会人基礎力』を診断し、個々の能力要素における「強み」「弱み」を分析し、その結果を5月20日(月)に学生にフィードバックしました。同日、学生へのフィードバック終了後、教員を対象に社会人基礎力 PROG 分析結果の解説を聞き、学生が今後の様々な学習や学生生活の中でその能力を最大限高めていけるよう、学部としてどのように関わるかを検討しました。

3. FD 講演会の開催

一般に哺乳類は父親と母親から同じ遺伝子を二つ受け継ぐが、いくつかの遺伝子については片方の親から受け継いだ遺伝子のみが発現することが知られています。このように遺伝子が両親のどちらからももらったか覚えていることを「ゲノム刷り込み」と言います。筋緊張低下、性腺発育不全、知的障害、肥満を四徴とするプラダーウィリー症候群の発症には「ゲノム刷り込み」が関係することが知られています。

2013年7月22日(月)、分子遺伝学分野で著名な清澤秀孔先生(高知大学医学部・環境医学 特任准教授)をお招きし、「胚性幹細胞(ES細胞)と神経細胞分化系を用いたゲノム刷り込みの解析」をテーマに、基本的な内容から最先端のエッセンスまでをお話いただきました。

4. FD 研修会への参加状況

採用後2年以内の新任教員を対象に、立川明先生(高知大学准教授)によるFD研修会が開催されました。2013年10月30日に開催された第1回目「授業づくり」をテーマとした研修会には、健康栄養学部からは新任教員を含み6名の教員が、また2013年11月6日に開催された第2回目「プレゼンテーション・話し方トレーニング」には3名の教員が積極的に受講し、スキルアップを目指しました。

また、学内の研修会に参加出来なかった教員は、学外で開催されるSPOD研修に積極的に参加し、授業の内容及び方法の改善を図りました。各教員が積極的にFD研修会に参加し、主体的に学習し資質・能力の向上に取り組みました。

14. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会事業

1. 慢性腎臓病(CKD)食事療法手引き作成

中村富予, 廣内智子, 水島直子

1) 事業の概要

新たな国民病とも言われている慢性腎臓病(CKD: Chronic Kidney Disease)は、腎臓の機能が慢性的に低下した状態で重症化すると心筋梗塞や脳卒中等を発症しやすく、さらにそのまま放っておくと人工透析が必要となる恐れがある。CKDは、日本では成人の8人に1人、高知県では約7万人と推測されており、現在も増加の一途をたどっている。そこで、CKDの予防および重症化予防対策として、CKDに対する減塩・低たんぱく食事療法の指導等に活用できるCKD患者およびその家族、予防に関心のある方を対象とした食事療法手引きを学生の教育の一環として作成した(600部)。高知新聞に掲載されたことにより、問い合わせが多く寄せられ、増刷した(500部)。

2) 意義

- ①レシピ作成は本学健康栄養学部3回生・4回生を中心に作成した。学生は、レシピ作成から試作、写真撮影、手引き作成までを一貫して行うことにより、実践的・効果的な学習機会を得ることができた。
- ②高知医療センターの管理栄養士および高知県立大学のさまざまな専門分野の教員が学生の指導にあたったために、学生は幅広い知識を身につける機会を得た。
- ③レシピ作成にあたっては高知県特有の食材や料理を盛り込んだために、地域に密着した指導用媒体が完成し、今後、高知県のCKD予防に活用できる手引きが完成した。



慢性腎臓病(CKD)
食事療法手引き

2. 慢性腎臓病(CKD)料理教室開催

中村富予, 廣内智子, 水島直子

1) 事業の概要

CKDの予防および重症化予防対策の啓発活動として、CKD患者およびその家族、予防に関心のある方を対象に、今回作成したCKD食事療法手引きを使用した料理教室を3月15日に開催した。開催場所は高知県立大学池キャンパス健康栄養学部棟1階の調理学実習室である。当日は、合計27名(男性9名、女性18名)の参加者があり、CKDの手引きをもとに管理栄養士による慢性腎臓病の食事療法に関する講義、学生による低たんぱく食の具体的な献立紹介および調理実習(1日1800kcal、たんぱく質40gの献立)を行った。

2) 意義

- ①参加者から、とても有意義で楽しかった、大変参考になった、また参加したいなどの声をいただき、一定を成果は得られたと考えられる。
- ②高知医療センターの管理栄養士および高知県立大学の教員と一緒に、学生を参加させた。学生は、実践の場に望むことにより、幅広い知識を身につける機会を得た。



料理教室で献立を説明する学生の様子

3. セミナー開催

水島直子

1) 事業の概要

高齢の慢性腎臓病患者の診療や栄養管理においては高齢者ならではの特徴を考慮する必要がある。そこで今回、臨床現場の管理栄養士や管理栄養士養成課程の学生と教員を対象に、高齢の慢性腎臓病患者に対する治療への理解を深めるためのセミナーを開催した。

2) 活動内容

日 時：平成 26 年 3 月 13 日（木） 18：15～19：15

場 所：高知県立大学 池キャンパス 本部・健康栄養学部棟 A306 教室

テーマ：高齢の慢性腎臓病患者を診る—血圧・身体機能・栄養—

講 師：聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科 助教 富永 直人 先生

対象者：高知医療センター栄養局員，高知県立大学健康栄養学部教員，3 回生

参加者数 42 名（高知医療センター栄養局 5 名，教員 8 名，3 回生 29 名）

3) 活動成果

参加者へのアンケート集計結果（回収率 81.0%）では、約 9 割の参加者が今回のテーマが興味深いと感じていた。講義内容の難易度は、学生で『難しかった』と感じたものが約 4 割あったものの、理解できたかどうかについては『あまり理解できなかった』『理解できなかった』と回答したものはなかった。約 9 割の参加者が今後もこのようなセミナーを希望すると回答しており、本セミナーの満足度は高く今後も継続していく必要があると考えられた。

4. 災害訓練

和田安彦，廣内智子，沼田聡

2013 年 8 月 31 日（土）に高知医療センター・高知県立大学合同災害訓練を実施した。

健康栄養学部の訓練内容は避難者のための非常食の提供、および簡易手洗いタンクによる手洗い方法の指導を行った。

また訓練終了後は、健康栄養学部および高知医療センター栄養局はライフラインが途絶えた場合を想定し、貴重な水をどのように使用し、排水するかを学ぶことを目的として、両施設の受水槽・合併処理浄化槽を見学し、容量やシステム等を学習した。

5. 高知医療センター「ハーモニーこうち」でのボランティア体験

島田郁子

2013 年度は、高知医療センターでの臨地実習前に 3 回生がボランティアを行い、高知医療センターの概要を理解する一助とした。

15. 健康栄養学部リカレント講座

和田安彦, 彼末富貴

1. 目的

社会の高齢化に伴い、食事に際して援助を必要とする人々の数が増えている。このような人々に対して、さまざまな嚥下困難者向けの食品や食事介助法、経管栄養法などが開発され、高齢者のQOL向上のために大いに役立っている。一方、これに比して到達目標の議論が十分になされていないとは言えない。その結果、かつては適用が限られていた「胃ろう」に代表される先進医療が高齢者福祉の現場でも普及し、社会問題にまで発展しつつある。

「死生観」や医療の果たすべき役割についての著作で有名な中村仁一医師を招いて、延命治療の結果、人間としての尊厳を損なうこともあることを知ってもらい、人はどのように生きてどのように人生の最後を迎えるべきかを考えてもらう。

本講座が、高齢者1人当たりの医療費日本一と言われる高知県の社会的課題を解決する契機となることを期待しての企画でもあった。

2. 活動内容

講演「高齢者の支援と死生観」

講師 中村仁一氏

(社会福祉法人 老人ホーム「同和園」附属診療所長)

日時 12月14日(土) 14:00~16:30

場所 高知県立県民文化ホール グリーンホール

参加者 約140名(内 学生アルバイト 5名、 学部教員・職員 6名 を含む)



3. 活動成果

講演を通して、人はどのように生きてどのように人生の最後を迎えるべきかという「死生観」についてひとりひとりが考えておかなければならないこと、この考え方が高齢者や家族にないと重要な岐路にさしかかった際に延命治療ということになりがちであること、その結果、人間としての尊厳を損なうこともあることがよく理解できた。さらに講演のあとの30分と限られた時間であったが活発な質疑応答がなされ、議論が深まった。

アンケート(100名)には、講演は「大変参考になった」もしくは「参考になった」ばかりであった。また、意見・感想の欄に本講演から得られた内容について半数以上の方から回答が寄せられており、聴講された方々の「高齢者の支援と死生観」に対する考えが深まったことがわかった。

以上、高知県の高齢者問題解決のための1つの方向性である人々の意識改革(死生観を持つことの重要性の認識)に大いに貢献したと考えられる。



高知新聞

16. 委員会一覧

委員会名		担当者	委員会名		担当者
教育研究審議会		和田安彦	学生委員会		荒牧礼子
部局長会議		和田安彦	国際交流委員会		島田郁子
地域教育研究センター (AERU)			健康管理センター運営委員会		川口順子
			広報専門委員会		沼田聡
地域教育研究センター 一部会長会議		渡邊浩幸(産官学 研究部会長)	総合情報センター運営委員会		川村真美
共通教育部会			図書部会		川村真美
教職課程専門委員会		逸見幾代(栄養), 川口順子(家庭)	情報処理部会		川村真美
生涯学習部会			人権委員会		川村美笑子
キャリア支援部会		彼末富貴	自己点検・評価運営委員会		和田安彦
産官学研究部会		渡邊浩幸(産官学 研究部会長)	FD委員会		廣内智子
地域課題研究部会			紀要編集委員会		廣内智子
教務委員会		西岡道子	災害対策プロジェクト委員		廣内智子, 沼田聡
健康長寿センター運営 委員会		荒牧礼子, 沼田聡	学年 担当 教員	1回生	中村富予, 水島直子
				2回生	荒牧礼子, 川村真美
				3回生	村上尚, 彼末富貴
				4回生	和田安彦, 沼田聡
学部	研究倫理審査専門委員会		荒牧礼子, 川村美笑子, 中村富予, 渡邊浩幸		
	国家試験対策委員会		中村富予, 廣内智子, 水島直子		
	就職支援		渡邊浩幸, 川村真美		
	臨地実習委員会		中村富予, 荒牧礼子, 島田郁子, 廣内智子, 水島直子, 沼田聡, 川村真美		

17. 入試状況の概要

2014年度入学試験

()内: 男子

区分	募集 人員 A(名)	志願者数B(名)		受験者数C(名)		合格者数D(名)		入学者数(名)		志願 倍率 (%)	合格 倍率 (%)		
		全体	県内	全体	県内	全体	県内	全体	県内				
推薦	一般 県内	10	24	24	24	24	24	10	10	10	10	2.4	2.4
	一般 全国	5	29	0	29	0	29	5	0	5	0	5.8	5.8
	合計	15	53	24	53	24	53	15	10	15	10	3.5	3.5
個別	前期	25	89 (6)	9	85 (6)	9	85 (6)	30 (1)	5	26 (1)	5	3.6	2.8
社会人	若干 名	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	—	3.0
私費外国人 留学生	若干 名	4 (1)	4	4	3	3	3	0	0	0	0	—	—
合計	40	149 (7)	36	144 (6)	36	144 (6)	46 (1)	16	42 (1)	16	16	3.7	3.1

Ⅱ. 学生の記録

1. 学生の都道府県別出身高校数
2. 教育における学外施設の利用状況
3. 資格所得状況の概要（2013年度）
4. 国家試験の合格者状況（新卒）
5. 就職状況の概要
6. インターンシップの実施状況（2013年度）
7. 学生の海外研修等（2013年度）
8. 2013年度 卒業研究題目一覧
9. 学生の受賞
10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

1. 学生の都道府県別出身高校数

(単位：名)

	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
北海道					
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県		1			1
栃木県					
群馬県		1		1	2
埼玉県	1				1
千葉県					
東京都		1			1
神奈川県					
新潟県					
富山県	2	1			3
石川県				1	1
福井県	1				1
山梨県					
長野県					
岐阜県	1	1			2
静岡県	1		2	2	5
愛知県		2		1	3
三重県			1	1	2
滋賀県	1	1	2		4
京都府			1		1
大阪府		1			1
兵庫県	7	3	1	4	15
奈良県					
和歌山県		1	1	2	4
鳥取県	1	1		1	3
島根県		1	2		3
岡山県					
広島県	1	1	3	1	6
山口県		1	1	1	3
徳島県	2	2		1	5
香川県	2	1	1	1	5
愛媛県	1	2	3	3	9
高知県	15	17	19	11	62
福岡県				1	1
佐賀県			2		2
長崎県	1				1
熊本県		1		1	2
大分県	2			1	3
宮崎県	1		2	1	4
鹿児島県				1	1
沖縄県	1	1		3	5
合計	41	41	41	39	162

2. 教育における学外施設の利用状況

実習名	実習先	実習期間	実習生(名)
地域公衆栄養学臨地実習	安芸福祉保健所	2013.9.5~9.11	8
	中央東福祉保健所	2013.9.5~9.11	7
	中央西福祉保健所	2013.9.5~9.11	7
	須崎福祉保健所	2013.9.5~9.11	7
	高知市保健所	2013.9.6~9.12	6
	幡多福祉保健所	2013.9.9~9.13	6
給食経営管理臨地実習	高知医療センター	2013.9.13~9.20	20
		2013.9.24~9.30	21
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	高知医療センター	2014.2.13~2.19	21
		2014.3.3~3.7	19
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	高知医療センター	2014.2.20~2.26	21
		2014.3.10~3.14	19
地域実践栄養学臨地実習	もみのき病院	2013.5.27~5.31	2
	細木病院	2013.5.27~5.31	4
	潮江双葉園(保育園)	2013.5.20~5.24	2
		2013.5.27~5.31	2
	陸上自衛隊高知駐屯地	2013.5.20~5.24	2
学校栄養教育実習	高知市立泉野小学校	2012.6.3~6.14	1
	高知市立潮江東小学校	2012.6.3~6.14	2
	高知市立大津小学校	2012.6.3~6.14	2
	南国市立岡豊小学校	2012.6.3~6.14	2
	高知市立初月小学校	2012.6.3~6.14	1
	南国市立国府小学校	2013.6.10~6.21	2
	南国市十市小学校	2013.6.10~6.21	2
教育実習(家庭科)	香南市立野市中学校	2012.5.27~6.14	1
	沖縄県立開邦高校	2012.5.27~6.14	1
	沖縄県豊見城市立長峰中学校	2012.6.3~6.21	1

3. 資格取得状況の概要(2013年度)

(単位:名)

管理栄養士国家試験受験資格	栄養士免許証	教員免許	
		栄養教諭一種	家庭 中学校教諭一種・高等学校教諭一種
39	39	12	3

4. 国家試験の合格者状況（新卒）

受験年度	2013年度	2012年度	2011年度
国家試験回数	第28回	第27回	第26回
受験者数（名）	38	21	21
合格者数（名）	37	16	18
合格率	97.4%	76.2%	85.7%

5. 就職状況の概要

（単位：名）

		2013年度	2012年度
管理栄養士・栄養士		25	11
教員	栄養教諭	3	1
	家庭科	2	0
総合職		3	3
製造・販売・営業職		3	3
学校栄養職員		1	0
調理員		1	0
商品開発		0	1
就職合計		38	19
進学等		1	0
その他		0	2
卒業生数		39	21

6. インターンシップの実施状況（2013年度）

（単位：名）

1回生	2回生	3回生	4回生
0	4	1	0

7. 学生の海外研修等（2013年度）

協定校・国名		交流日	交換人数
サバ大学	マレーシア	2013. 6. 20～8. 21	マレーシア人学生 2名

8. 2013年度 卒業研究題目一覧

1. 野菜抽出物を使用したリパーゼ阻害活性物質の探索 (清水梨沙 食品科学研究室)
2. 骨格筋におけるUCP3発現を促進する野菜抽出物の探索 (阪口晴菜 食品科学研究室)
3. 野菜抽出物を使用した α -グルコシダーゼ阻害活性物質の探索 (山本千亜希 食品科学研究室)
4. 発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果
(林田実華 食品科学研究室)
5. β -グルカンの大腸における抗癌作用メカニズム (石垣遼子 食品科学研究室)
6. 100 hue test による色彩弁別能力の研究～若齢女性と中高齢女性の比較～
(上原由紀子, 関塚結 生活デザイン学研究室)
7. ランチョンマットの色彩が食事の印象に与える影響 (水田奈都美 生活デザイン学研究室)
8. 加熱時間による鯖のビタミンB₁₂含量 (藤田菜奈 調理学研究室)
9. キビナゴの揚げ加熱におけるビタミンB₁₂含量について (山内江里加 調理学研究室)
10. 炒め加熱による花ニラとニラの葉酸含量 (小笠友香 調理学研究室)
11. レシピ検索サイトの比較検討 (尾崎文香 臨床栄養学研究室)
12. 過去の運動クラブ歴と体格・体組成の比較 (後藤薫歩 臨床栄養学研究室)
13. 男女産み分けと食事との関連について (西森彩乃 臨床栄養学研究室)
14. 成人乳糖不耐症について (財前菜穂子 臨床栄養学研究室)
15. 真空包装が食肉軟化剤の使用に及ぼす影響 (倉尾美咲 給食経営管理研究室)
16. 高齢者のための食事:鶏卵への食肉軟化剤の応用 (木村優美, 平川智依 給食経営管理研究室)
17. 在宅支援を受けている高齢者の食生活の実態とその課題 (藤原沙貴 給食経営管理研究室)
18. *In vitro* 香辛料の消化酵素腓リパーゼ阻害作用について (香嶋優里 栄養学研究室)
19. シミュレーションモデル: 都道府県別の学校給食における推定エネルギー必要量の設定と
肥満出現率と生活習慣等の関連について (海野亜季 栄養学研究室)
20. *In vitro* ヨウ素の食物繊維への吸着 (外山恵梨 栄養学研究室)
21. ゲル化剤ジェラーレの性状に関する基礎的検討 (後藤亜耶 栄養学研究室)
22. 食餌摂取パターンおよび食塩摂取量のマウス糞便への影響 (三谷有紀 栄養学研究室)
23. 災害時に適用可能な手洗いタンクを用いた節水型手洗い法の検討 (宮部夏実 健康生態学研究)
24. 非常時にも食用可能な乾物と野生の動植物の日常的な使用実態 (西村和香 健康生態学研究)
25. 特定給食施設における労働衛生管理の実態 (永野三奈美 健康生態学研究)
26. お菓子のPFC比と高校生におけるお菓子の摂取量と嗜好調査 (笹岡あゆみ 公衆栄養学研究室)
27. 女子大学生のお菓子に関する現状調査 (山岡知美 公衆栄養学研究室)
28. お菓子が一日の脂質エネルギー比率に与える影響 (名村真梨菜 公衆栄養学研究室)
29. 健診に基づく児童の現状と生活習慣病予防に繋がる指導項目の検討
(山本尚 公衆栄養学研究室)
30. まな板での二次汚染の危険性について (伊井彩乃 病態学研究室)
31. わさびによる防カビ防菌効果について (岡本有加 病態学研究室)
32. レタスに付着している細菌量の鮮度・洗浄による変化の検討 (桂雅 病態学研究室)
33. ペットボトル飲料中での大腸菌の増殖 (菊元萌 病態学研究室)
34. 食品成分表年次推移と環境・健康要因との関連についての一考察例
(鈴木美里, 中田翠, 安井美鈴, 山根悠 栄養教育学研究室)

9. 学生の受賞

表彰名	学年	氏名	功績・賞の概要
学長賞 2014. 3. 4	4 回生	山本尚	学業と両立しながら、学内外におけるボランティアとしての課外活動や社会活動を通して、地域社会に貢献した。
	3 回生	森和子	イケあい地域ボランティア（15 人）として：イケあい地域災害学生ボランティアセンターは防災活動の取り組みが認められ、兵庫県・毎日新聞等が主催する「ぼうさい甲子園」において大学部門の最優秀賞にあたる平成 25 年度「ぼうさい大賞」を受賞し、高い社会的評価を得た。
（社）全国栄養士養成施設協会会長賞 2014. 3. 19	4 回生	山本尚	栄養士課程および管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を対象に、社団法人全国栄養士養成施設協会が表彰する。
第 1 回全国米粉料理レシピコンテスト 敢闘賞 2014. 2. 9	4 回生, 3 回生, 1 回生	こめっ娘。 代表者 松崎美咲	第 1 回米粉料理コンテストにおいて、中四国・九州地区決勝大会に選考された。

10. 学生の課外活動・イベントで特徴的な事項の一覧

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2013. 7～2014. 3	学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」	島田郁子, 田中守, 沼田聡	レシピ集作成、地域との交流等を通じ中土佐町大野見地区の地域活性化を目指す。
2013. 11. 21～23	ものづくり総合技術展	渡邊浩幸, 川村真美	高知県・公益財団法人高知県産業振興センター（ものづくり地産地消センター）主催。健康栄養学部学生提案による高知ヤマザキ試作パンの試食を実施。
2013. 7. 27～28	子育て応援団～すこやか 2013～	島田郁子, 沼田聡	RKC 高知放送主催。子育てを応援することを目的として様々な企業団体と取り組む、来場者 2 万人を超えるイベントに、食育活動のブースの一つを担当している。
2013. 11. 4	こうち子育て応援フォーラム 2013 における「親子でスリム教室」	水島直子	県が高知県少子対策推進県民会議とともに取り組むイベントの一つに、親子でふれあいながら生活習慣を見直す取り組みをイオンモール高知でおこなった。

実施日	活動・イベント名	担当教員	活動・イベントの概要
2013. 5. 5	新茶まつり	川口順子	高知県産緑茶のPR。茶娘姿で新茶をふるまい、土佐茶PRのお手伝い。
2013. 8. 22～25	高知県小児糖尿病サマーキャンプ		子供たちが集団生活を通じて自己管理に必要な糖尿病の知識・技術を身につけるキャンプでの補助を通して、管理栄養士の役割、他職種との連携を勉強する。
2013. 12. 23	チャリティーケーキの販売		新潟中越地震後毎年、中心商店街のクリスマスイベントで手作りお菓子を販売し、その売り上げを募金している。

Ⅲ. 教員の教育・研究・地域貢献活動

1. 和田 安彦
2. 川村 美笑子
3. 中村 富予
4. 逸見 幾代
5. 村上 尚
6. 渡邊 浩幸
7. 荒牧 礼子
8. 川口 順子
9. 島田 郁子
10. 西岡 道子
11. 廣内 智子
12. 田中 守
13. 沼田 聡
14. 水島 直子
15. 彼末 富貴
16. 川村 真美

学部長 教授 和田 安彦 (WADA Yasuhiko)

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・健康情報論実習
- ・公衆衛生学
- ・地域健康論
- ・環境衛生学実習
- ・介護論 (オムニバス)
- ・食と介護 (実習) (オムニバス)
- ・臨床医科学 (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

【大学院】

- ・人間生活健康情報論 (オムニバス)

II. 研究活動

【論文】

1. Nishimura Y, Maeda M, Kumagai-Takei N, Lee S, Matsuzaki H, Wada Y, Nishiike-Wada T, Iguchi H, Otsuki T.: Altered functions of alveolar macrophages and NK cells involved in asbestos-related diseases. Environ Health Prev Med. 18, pp.198-204 (2013).
2. Maruyama K, Iso H, Date C, Kikuchi S, Watanabe Y, Wada Y, Inaba Y, Tamakoshi A; JACC Study Group.: Dietary patterns and risk of cardiovascular deaths among middle-aged Japanese: JACC Study. Nutr Metab Cardiovasc Dis. 23, pp.519-27 (2013).

【学会発表】

和田安彦: 指定発言, 第86回日本産業衛生学会 シンポジウム「エビデンスに基づく産業栄養の実現に向けて」, (松山 2013).

III. 委員会活動

1. 学部運営委員
2. 学年担当 (2010 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本衛生学会評議員
2. 日本衛生学会英文誌 Environmental Health and Preventive Medicine 編集委員
3. 日本職業・災害医学会評議員
4. 日本産業衛生学会代議員
5. 第86回日本産業衛生学会 企画運営委員
6. 高知出版学術賞審査委員会審査委員

【講演・学習会等】

第56回高知県家庭科教育連合会研究大会「産業衛生や生活安全のために重要である生活科学の基礎学力」, 高知大学, 2013.12.7

V. 研究助成

【学外】

厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) : 追跡終了後コホート研究を用いた共通化データベース基盤整備とその活用に関する研究 (H25-循環器等 (生習) 一般-003) (代表: 玉腰暁子) (研究協力者) (文部省がんコホート研究: JACC Study 班員)

教授 川村 美笑子(KAWAMURA Mieko)

I. 教育活動

【学部】

- ・健康栄養学応用（オムニバス）
- ・基礎栄養学
- ・基礎栄養学実験
- ・応用栄養学 I
- ・応用栄養学 II
- ・生化学 I（オムニバス）
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座（オムニバス）
- ・栄養学（看護学部）

【大学院 人間生活学研究科（修士課程）】

- ・人間生活論演習 I
- ・生活科学特別研究
- ・人間栄養論 II

【大学院 健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- ・栄養生理論
- ・生活科学特別研究 I
- ・生活科学特別研究 II
- ・生活科学特別研究 III

【非常勤講師】

高知大学医学部 看護学科「食生活論」（2013年10月～12月）

II. 研究活動

【論文】

隅田有公子, 川村美笑子: Mg 欠乏食一甘味料溶液継続接種がマウス脳内セロトニン濃度に及ぼす影響, Trace Nutrients Research 30, 58-63(2013)

III. 委員会活動

1. 教育研究審議会委員
2. 入試委員会委員
3. 研究倫理審査委員会委員長
4. 大学院健康生活科学研究科（博士後期課程）科長
5. 人権委員会委員
6. 自己点検・評価運営委員会
7. 紀要企画委員(大学院)
8. 学部運営委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会査読委員
2. 日本医学看護学教育学会評議員
3. 日本微量栄養素学会評議員・査読委員
4. 日本栄養学教育学会評議員
5. ビタミンC研究委員会委員
6. 高知産業保健推進センター特別委員
7. 高知県農林業基本対策審議会特別委員
8. 高知県衛生研究所研究評価委員
9. 高知県食の安全・安心推進協議会委員
10. 高知県食育推進協議会長

【講演・講習会等】

1. 平成 24 年度教育職員免許状更新講習会（家庭科），高知県教育委員会、2013 年 8 月
2. 「地域に根ざした食教育」高知県保育士会総会，2013 年 5 月
3. 「健康食品の使用と利用を栄養学視点から考える」平成 25 年度第 1 回健康食品管理士会四国支部総会・研修会，平成 25 年 5 月
4. 「暮らしの食とメンタルヘルス」，産業保健研修会（産業医認定講座），高知県産業保健推進センター，2013 年 7 月
5. 「子供条例フォーラム in 四万十」高知県，2013 年 12 月

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学Ⅰ
- ・臨床栄養学Ⅲ
- ・臨床栄養学実習Ⅰ
- ・臨床栄養学臨地実習Ⅰ
- ・管理栄養総合演習Ⅰ（オムニバス）
- ・地域実践栄養学臨地実習（共担）
- ・管理栄養士国家試験対策講座（オムニバス）
- ・臨床栄養学Ⅱ
- ・臨床実践栄養学
- ・臨床栄養学実習Ⅱ
- ・臨床栄養学実習Ⅱ
- ・管理栄養総合演習Ⅱ（オムニバス）
- ・卒業研究

【大学院 人間生活学研究科（修士課程）】

- ・人間栄養論Ⅰ

【大学院 人間生活学研究科（博士後期課程）】

- ・臨床栄養論

II. 研究活動

【論文】

天野信子, 佐藤能啓, 林田憲昌, 加藤恵子, 大塚豊子他, 中村富予: 重症アルツハイマー病における栄養障害の検討: 特に低蛋白血症の病態生理について, 帝塚山大学人間環境科学, **22**, pp. 23-27, 2013.

【学会発表】

1. 中村富予, 逸見幾代, 天野信子, 爲房恭子: 入院患者の食事データを用いた文献検索結果について, 第60回日本栄養改善学会, 神戸, 2013.
2. 加藤恵子, 大塚豊子, 中村富予, 渡邊香織, 天野信子: アルツハイマー病(AD)における栄養障害の検討: 特に栄養管理面での障害対応策について(予報), 第60回日本栄養改善学会, 神戸, 2013.
3. 竹山育子, 爲房恭子, 遠妙美, 吉田和希, 中村富予: 在宅難病患者支援における訪問栄養指導の効果についての検討, 第60回日本栄養改善学会, 神戸, 2013.
4. 中村富予, 多門隆子, 水野浄子, 山口繁, 角谷勲, 竹山育子: 地域住民の年代別食生活と身体組成との関連, 第72回日本公学衛生学会, 三重, 2013.
5. 吉田和希, 爲房恭子, 中村富予, 竹山育子, 遠妙美: 在宅胃瘻管理を初めて行う患者家族への栄養士介入事例, 第72回日本公学衛生学会, 三重, 2013.

III. 委員会活動

1. 高知医療センター・高知県立大学S P研究会委員
2. 大学院人間生活学研究科（修士課程）入試実施委員
3. 学部運営委員
4. 臨地実習委員長
5. 管理栄養士国家試験対策委員長
6. 健康栄養学部研究倫理専門審査委員
7. 学年担当（2013年度入学生）
8. 健康栄養連携部会 慢性腎臓病（CKD）食事療法手引き作成委員長

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員
2. NPO 法人 ケアプランニング NEST 理事
3. 在宅療養者の栄養ケアを考える会 世話人
4. 一般社団法人栄養ケア推進基金栄養指導支援システムアドバイザー
5. 高知県立幡多けんみん病院給食業務委託プロポーザル審査委員

【その他】

中村富予:尿酸値が高めの方の食事アドバイスについて (e-ラーニング 30 分間視聴覚教材), MP ラーニング, 2013.

I. 教育活動

【学部】

- ・栄養教育論 I
- ・栄養教育論 II
- ・栄養教育論 III
- ・学校栄養指導論 I
- ・学校栄養指導論 II
- ・ライフステージ栄養学
- ・応用栄養学実習
- ・栄養教育論実習 I
- ・栄養教育論実習 II
- ・管理栄養士国試対策講座 (オムニバス)
- ・学校栄養教育実習
- ・教職実践演習 (栄養)
- ・卒業研究

【大学院】

- ・栄養・生活特論 I (オムニバス) (未開講)
- ・栄養・生活特論 II (オムニバス) (未開講)
- ・食生活論演習 (オムニバス) (未開講)

II. 研究活動

【論文】

1. 西村栄恵, 逸見幾代, 土海一美: 青年成人期にある若年者の食生活調査 第3報—食育手法を検討するために—松山東雲短期大学研究論集 第43(2013)
2. 嶋田さおり, 桑村光香, 西村栄恵, 岡村絹代, 逸見幾代, 若林良和: 栄養教諭を中核とした食育推進の現状と課題—愛媛県A町を事例として—松山東雲短期大学研究論集 第43(2013)

【著書】

1. 逸見幾代, 佐藤香苗 編: マスター栄養教育論 第2版 (2013), 建帛社
2. 本田佳子編, 逸見幾代他: Trainee Guide 栄養食事療法の実習 栄養ケアマネジメント 第9版 (2013), 医歯薬出版

【学会発表】

1. 逸見幾代, 嶋田さおり, 西村栄恵, 江口依里, 丸山広達, 古川慎哉, 斉藤功, 谷川武, 東温市健康推進課: 食育への関心と食行動の関連性について, 第59回四国公衆衛生学会 四国公衆衛生学会雑誌Vol. 59. No. 1. 2014
2. 逸見幾代, 吉村加奈, 越智泉, 西村栄恵, 丸山広達, 斉藤功: 地域の健康づくりと保健事業からみた食習慣と生活習慣病の関連と予防 第4報—高血圧と糖尿病と食事バランス: 第60回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 71. No. 5. 2013
3. 嶋田さおり, 西村栄恵, 岡村絹代, 逸見幾代, : 学生による食育推進活動の実践とその効果, 第60回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 71. No. 5. 2013
4. 東温市健康推進課, 逸見幾代, 嶋田さおり, 西村栄恵, 斉藤功: 域食育推進計画と実施状況について—東温市食育推進計画中間評価について—成人期, 第60回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 71. No. 5. 2013
5. 丸山広達, 吉村加奈, 逸見幾代, 斉藤功: ビタミンD摂取とインスリン抵抗性・感受性との関連: 東温スタディ, 第60回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 71. No. 5. 2013
6. 西村栄恵, 逸見幾代, 土海一美: 青年成人期にある若年者の食生活調査—食育手法を検討するために—第4報, 第60回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 71. No. 5. 2013

7. 吉村加奈, 丸山広達, 逸見幾代, 斉藤功: 血中 β カロテン濃度と生活習慣との関連: 東温スタディ, 第60回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 71. No. 5. 2013
8. 中村富子, 天野信子, 逸見幾代: 入院患者の食事データを用いた文献検索結果について, 第60回日本栄養改善学会 栄養学雑誌Vol. 71. No. 5. 2013

Ⅲ. 委員会活動

1. 教職課程専門委員 (栄養)
2. 学部運営委員

Ⅳ. 社会的活動

1. 日本栄養改善学会評議員
2. 日本栄養士会雑誌査読委員
3. 愛媛県食の安全安心推進県民会議委員
4. 東温市食育推進委員会委員
5. 愛媛県産業技術評価専門部会委員
6. 東温スタディー運営委員
7. 香友会愛媛支部支部長
8. 愛媛県中山間地域等直接支払制度審議会委員
9. 愛媛県海区漁区調整委員会委員
10. 高知県立安芸病院給食委託プロポーザル審査委員

I. 教育活動

【学部】

- ・人体の構造と機能 I
- ・人体の構造と機能 II
- ・疾病論 I
- ・疾病論 II
- ・臨床医科学 (オムニバス)
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座(オムニバス)

II. 委員会活動

1. 学部入学試験実施委員
2. 大学入試センター試験部会員
3. 学部運営委員
4. 学年担当 (2011 年度入学生)

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学
- ・食品衛生学 (オムニバス)
- ・食品の栄養素と機能
- ・食材学
- ・卒業研究
- ・食品学実験
- ・食品衛生学実験 (オムニバス)
- ・健康栄養学基礎 (オムニバス)
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

【大学院 人間生活学研究科 (修士課程)】

- ・人間生活論演習 I (オムニバス)
- ・食品総合科学論

II. 研究活動

【論文】

1. Comparison of catabolic rates of fatty acids using stable isotope and isotope-ratio mass spectrometry. Naohiro Gotoh, Toshiharu Nagai, Kazuaki Yoshinaga, Hoyo Mizobe, and Hiroyuki Watanabe, Lipid Technology, 25(5), 110-112, 2013.
2. Oxidized trilinoleate and tridocosahexaenoate induce pica behavior and change locomotor activity. Kitamura F, Watanabe H, Umeno A, Yoshida Y, Kurata K, Gotoh N, J. Oleo. Sci., 62(4), 207-212, 2013.

【学会発表】

1. 小築康弘, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 大里(笹田)怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸: 「発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果」第 67 回日本栄養・食糧学会大会(名古屋市), 2013 年 5 月.
2. 川村真美, 川北浩久, 前川美智子, 渡邊浩幸: 「カヤ種子タンパク質の抽出と加工食品への応用」第 67 回日本栄養・食糧学会大会(名古屋市), 2013 年 5 月.
3. 伊藤幸彦, 奥原康英, 中島友里, 喜瀬光男, 川村真美, 渡邊浩幸: 「米糠由来ステロール配糖体が脂質代謝、糖代謝に及ぼす影響」, 日本脂質栄養学会第 22 回大会(高知市), 2013 年 9 月.
4. 小築康弘, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 笹田怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸: 「発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果」, 日本脂質栄養学会第 22 回大会(高知市), 2013 年 9 月.
5. 渡邊浩幸, 島田郁子 (高知県立大学健康栄養学部), 岡崎康展, 岡田英, 荻沼一男 (高知県立大学地域教育研究センター): 「高知県立大学における産官学連携」産学連携学会第 11 回大会 (盛岡市), 2013 年 6 月

III. 委員会活動

1. 産官学研究部会
2. 地域課題研究部会
3. 学部運営委員
4. 健康栄養学部研究倫理専門審査委員
5. 学部就職支援委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
2. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
3. 日本肥満学会会員
4. 日本食品科学工学会会員
5. 土佐フードビジネスクリエイター(FBC)人材創出 講義担当
6. 高知県食品産業研究会チーフアドバイザー
7. 高知県事業診査アドバイザー
8. 第22回日本脂質栄養学会大会 大会長（高知市2013年9月）

V. 研究助成

【学外】

1. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金（挑戦的萌芽研究）：平成25年度「高風味・高栄養価の野菜類を非常・災害食として利用するための野菜類の保存技術の確立」
2. 高知県産学官連携産業創出研究推進事業「県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築化モデル」
3. 平成25年度高知県産学官連携産業創出研究推進事業（育成研究支援）：漁獲物の高付加価値化を目指した魚類ストレス度測定装置の開発

I. 教育活動

【学部】

- ・公衆栄養学 I
- ・公衆栄養学 II
- ・地域公衆栄養学実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習（共担）
- ・管理栄養士総合演習 I（オムニバス）
- ・管理栄養士総合演習 II（オムニバス）
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座（オムニバス）
- ・生活支援援助Ⅲ（社会福祉）（オムニバス）

II. 研究活動

【論文】

Reiko Aramaki, Yoshiteru Akezaki, Mizuho Nonomura : The effect of lifestyle habit factors on visceral fat accumulation in working people, The Journal of Mibyou Sustum Association, Vol. 20, (1), pp1-7 (2014)

【学会発表】

1. 山本尚, 荒牧礼子, 名村真梨菜, 山岡知美, 笹岡あゆみ, 石川麻衣, 首藤ひとみ, 池添志乃, 池田光徳 : 健診に基づく児童の現状と生活習慣病予防に繋がる指導項目の検討, 第 59 回四国公衆衛生学会, (高知, 2014)
2. 荒牧礼子, 石川麻衣, 首藤ひとみ, 水島直子, 池田光徳 : 小学生児童における生活習慣の現状および健康管理の意識強化を目的とした習慣づくりに関する項目の検討, 第 20 回日本未病システム学術総会, (東京, 2013)

III. 委員会活動

1. 学生部委員
2. 健康長寿委員
3. 健康栄養学部研究倫理専門審査委員長
4. 臨地実習委員
5. 学年担当 (2012 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本未病システム学会評議員
2. 土佐市プロジェクトメンバー
3. 地域雇用創出推進協議会 講師
4. 日本野菜ソムリエ協会野菜ソムリエ養成講座講義担当

【講演・講習会等】

1. 土佐市地域雇用創出推進協議会主催 人材育成セミナー「食のテキスト作り」平成 25 年 12 月 6 日 土佐市
2. 健康長寿公開講座 食の体験セミナー「認知症予防のための栄養バランスの良い食生活」香美市中央公民館 平成 25 年 11 月 23 日 (土)
3. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成 25 年 7 月 31 日 (土)
4. とさっ子健診 土佐市保健センター 平成 25 年 12 月 14 日 (土)
5. 健康長寿公開講座 体験セミナー「健康長寿につながる町づくり」 本山町 プラチナセンターふれあいホール 平成 25 年 12 月 15 日 (日)

准教授 川口 順子 (KAWAGUCHI Junko)

I. 教育活動

【学部】

- ・衣生活学 (オムニバス)
- ・服飾造形実習 I
- ・服飾造形実習 II
- ・家庭科教育法IV
- ・教育実践演習
- ・教育実習 I
- ・教育実習 II
- ・生活論 (オムニバス)
- ・卒業研究

II. 研究活動

【学会発表】

1. 村上かおり, 増田智恵, 川口 順子: 日常生活動作に伴う着心地評価と筋負担の関係について
ー男子大学生のジャケット着用時の場合ー, 日本家政学会 第 65 回大会, (東京 2013) .
2. 團野哲也, 大野早智, 川口順子, 村上かおり: 明治初期に使用された合成染料の特定ー中村喜一郎著 実地染色法を読み解くー, 日本家政学会 第 65 回大会, (東京 2013) .
3. 團野哲也, 川口順子, 村上かおり: 1873 年ウィーン万国博覧会における日本政府出品の繊維製品についてー旧信濃国からの出品物と府県博覧会ー, 日本衣服学会第 65 回年次大会, (長野 2013) .

【報告書】

「選び・着て・装い・管理できるファッショナブル衣生活ーエコ&ユビキタスマイライフスタイルの実現ー」, 三重大学出版会, 152 頁: 川口担当分: 色と安全性 p. 75-76, 女子大生の色彩意識調査 p. 128-131, 高齢者の色彩弁別能力 p. 131-134

III. 委員会活動

1. 共通教育部会委員
2. 健康管理センター運営委員
3. 教職課程専門委員 (家庭)
4. 教員免許状更新講習実施部会委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本家政学会代議員
2. 日本家政学会被服心理部会監事
3. 日本衣服学会幹事
4. 日本繊維製品消費科学会会員
5. 日本繊維機械学会会員
6. 日本生理人類学会会員
7. 人間ー生活環境系学会会員
8. 高知県小・中・高・大家庭科教育連合会理事

【講演・講習会等】

平成 25 年度教員免許状更新講習会 (家庭科) 講師, 高知県教育委員会, 2012 年 8 月 8 日

V. 研究助成

【学外】

1. 平成 25 年度科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 「エシカルな 3 次元エルダーファッションシステムの構築」 課題番号: 25282013 (共同研究者)
2. 平成 25 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 「体形と筋負担を考慮したパーソナルファッションのための基礎的研究」 課題番号: 70347657 (共同研究者)

I. 教育活動

【学部】

- ・給食経営管理論
- ・給食計画論
- ・給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ（オムニバス）
- ・給食経営管理臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習（共担）
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座（オムニバス）

II. 研究活動

【論文】

1. 田中守, 廣内智子, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤厚: Reactive Dye を用いたヒヨコ血清アルブミン機能評価の検討, 四国公衆衛生学会雑誌, 59, pp.77-83 (2014)
2. 廣内智子, 田中守, 島田郁子; 震災経験が全国自治体の食糧備蓄体制に及ぼした影響; 日本病態栄養学会 (印刷中)
3. 廣内智子, 田中守, 島田郁子, 荻沼一男; 東日本大震災直後における被災者の食糧供給に関する経日的変化; 日本災害食学会 (印刷中)

【著書】

管理栄養士・栄養士のための食品安全・衛生学 日佐和夫, 仲尾玲子編著 pp. 156-165
学文社 2014

【学会発表】

1. 渡邊浩幸, 島田郁子, 岡崎康展, 岡田英, 荻沼一男; 高知県立大学における産官学連携 第11回産学連携学会 2013年6月
2. 島田郁子, 豊福肇, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 日佐和夫; 給食経営管理実習における衛生管理レポートの分析 第62回日本食品保蔵科学会学術総会 2013年6月
3. 島田郁子, 廣井三紀, 沼田聡, 藤原沙貴, 木村優美, 倉尾美咲, 平川智依, 宇賀玲実, 松井慶子; 在宅支援を受けている人々の食生活の実態とその課題 第9回給食経営管理学会学術総会 2013年11月
4. 沼田聡, 島田郁子; 授業アンケートを活用した実践的な給食経営管理実習の内容検討(第3報) 第9回給食経営管理学会学術総会 2013年11月
5. 島田郁子, 式地麻湖, 東田里穂, 杉沢江里子, 田中守, 沼田聡, 南部満, 下元和恵, 高橋正二郎; 中土佐町大野見地区における地域農業活性化の試みー学生プロジェクトを通じてー 第59回四国公衆衛生学会学術総会 2014年2月

III. 委員会活動

1. 国際交流委員: 2013年6月21日～8月21日 マレーシア国立サバ大学
食品科学・栄養学部学生2名 来高 交流・研修担当
2. 臨地実習委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 土佐市社会福祉事業団理事
2. 学生プロジェクト立志社中「それいけ! 大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者

3. 生き生きサポートセンターうえるば高知・高知福祉機器展実行委員会・社会福祉法人高知県社会福祉協議会主催「おいしい災害食のススメ～東日本大震災の経験に学んで～」講師 ふくし交流プラザ（高知）2013年6月16日
4. RKC高知放送主催「子育て応援団すこやか2013」参加，高知ちばさんセンター，2013年7月27日～28日
5. 高知県産業振興推進部地産地消・外商課主催 食品加工生産管理高度化研修 助言者

【講演・講習会等】

1. 土佐市保育職場向け研修「食物アレルギーの現状と対策～安全な生活のために～」2013年7月
2. 土佐市学校給食衛生管理研修 2013年10月
3. 食品加工生産管理高度化研修 大量調理 2013年9月

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学
- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・管理栄養士総合演習 II (オムニバス)
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座 (オムニバス)

II. 委員会活動

教務委員

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本ビタミン学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 日本家政学会会員
5. 公益社団法人高知県栄養士会会員
6. NPO 法人食生態学実践フォーラム会員
7. 土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業 (土佐 FBC II) 講師 2013 年 11 月 22 日
8. 健康栄養連携部会 慢性腎臓病 (CKD) 食事療法手引き作成委員

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・地域実践栄養学臨地実習 I
- ・管理栄養士総合演習 I
- ・卒業研究
- ・栄養学と人間（共通教養）
- ・土佐の自然と暮らし（共通教養）（オムニバス）
- ・地域学（共通教養）（オムニバス）
- ・チーム形成論（共通教養）（オムニバス）

II. 研究活動

【論文】

1. 松井欣也, 金本郁美, 中島浩司, 玉村宣尚, 田中守, 廣内智子: 重症心身障害児（者）の腎結石症に対するクランベリージュースの効果, 日本重症心身障害学会誌, 38巻, 1号:143-147, 2013
2. 廣内智子, 田中守, 島田郁子: 震災経験が全国自治体の食糧備蓄体制に及ぼした影響, 日本病態栄養学会（印刷中）
3. 廣内智子, 田中守, 島田郁子, 荻沼一男: 東日本大震災直後における被災者の食糧供給に関する経日的変化—マスメディア画像からの分析—, 日本災害食学会（印刷中）
4. 松井欣也, 大幸聡子, 廣内智子, 杉本信子, 藤原政嘉, 日本栄養士会: 東日本大震災における栄養士の活動と今後の取り組み, 日本災害食学会（印刷中）

【学会発表】

1. 島田郁子, 豊福肇, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 日佐和夫: 給食経営管理実習における衛生管理レポートの分析, 第62回日本食品保蔵科学会学術総会, 山形, 2013年6月
2. 松井欣也, 大幸聡子, 廣内智子, 杉本信子, 日本栄養士会: 東日本大震災における支援活動報告（気仙沼市・石巻市）—栄養士の取り組みと今後の課題—, 日本災害食学会第1回研究発表会, 東京, 2013年12月14日
3. 廣内智子: 東日本大震災直後における被災者の食事に関する経日的変化—マスメディア画像からの分析—, 第17回日本病態栄養学会, 大阪, 2014年1月11日・12日

III. 委員会活動

1. 紀要編集委員
2. FD委員
3. 災害対策プロジェクト委員
4. 国際交流ワーキンググループ（学部）
5. 管理栄養士国家試験対策委員
6. 臨地実習委員
7. 健康栄養連携部会 慢性腎臓病（CKD）食事療法手引き作成委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携健康栄養学連携部会主催, CKDにおける食事療法のための料理教室の開催, 高知県立大学池キャンパス, 2014年3月15日

2. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携健康栄養学連携部会主催，CKDにおける食事療法のための手引き作成および配布
3. 公益社団法人日本栄養士会会員
4. 公益社団法人高知県栄養士会会員
5. 日本臨床栄養学会会員
6. 日本病態栄養学会会員
7. 日本静脈経腸栄養学会会員
8. 日本咀嚼学会会員
9. 日本災害食学会会員
10. 日本栄養改善学会会員
11. 日本栄養・食糧学会会員
12. 日本重症心身障害学会会員
13. 日本公衆衛生学会会員

【講演・講習会等】

1. 第57回中国・四国地区乳児院研究協議会，講演「非常時の食と健康」講演者，松山，2013年9月11日
2. 高知県布師田小学校地域合同防災キャンプ，講演「非常食の話，何をどれだけ，何日分のストック？」，布師田小学校，2013年11月22日
3. 第12回高知福祉機器展バリアフリーフェスティバル，高知県立ふくし交流プラザ，講演「おいしい災害食のススメ～東日本大震災の経験に学んで～」2013年6月15日・16日

【その他】

第3回日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）リーダー育成研修，宮城県，2013年11月2日・3日（災害等発生時においてJDA-DATリーダーとして支援活動に従事することについて南学長より承諾を得た，2014年1月8日）

助教 田中 守 (TANAKA Mamoru)

I. 教育活動

【学部】

- ・ 生化学実験
- ・ 卒業研究
- ・ 基礎栄養学実験
- ・ 栄養と健康の歴史 (共通教養)
- ・ 運動生理学
- ・ 土佐の自然と暮らし (共通教養) (オムニバス)

【非常勤】

- ・ 高知情報ビジネス専門学校製菓製パン科 食品学

II. 研究活動

【論文】

1. 田中守, 廣内智子, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤厚: Reactive Dye を用いたヒヨコ血清アルブミン機能評価の検討, 四国公衆衛生学会雑誌, 59, pp. 77-83 (2014)
2. 田中守, 根津俊大, 吉本好延, 岡本威明: マウスにおける卵白リゾチーム感作モデル系の確立, 高知県立大学健康栄養学部研究紀要, 63, pp. 1-8 (2014).
3. 廣内智子, 田中守, 島田郁子: 震災経験が全国自治体の食糧備蓄体制に及ぼした影響, 日本病態栄養学会誌 (印刷中) (2014)
4. 廣内智子, 田中守, 島田郁子, 荻沼一男: 東日本大震災直後における被災者の食糧供給に関する経日的変化, 日本災害食学会 (印刷中) (2014)

【学会発表】

1. 島田郁子, 豊福肇, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 日佐和夫: 給食管理実習における衛生管理レポートの分析, 日本食品保蔵科学会, (山形 2013).
2. 島田郁子, 式地麻湖, 東田理穂, 杉沢江里子, 田中守, 沼田聡, 南部満, 下元和恵, 高橋正二郎: 中土佐町大野見地区における地域農業活性化の試みー学生プロジェクトを通じてー, 四国公衆衛生学会, (高知 2014)

III. 委員会活動

1. 学部入学試験実施委員
2. 国際交流ワーキンググループ (学部)
3. 土佐市連携プロジェクト

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
5. 川崎医療福祉学会会員
2. 日本食品科学工学会会員
6. 日本重症心身障害学会会員
3. 日本公衆栄養学会会員
7. 公益社団法人日本栄養士会会員
4. 生物機能研究所会員
8. 公益社団法人高知県栄養士会会員

【講演・講習会等】

1. 第12回高知ふくし機器展バリアフリーフェスティバル「おいしい災害食のススメ～東日本大震災の経験を学んで～」講師, ふくし交流プラザ, 2013年6月15, 16日.
2. 土佐市保育職場向け研修「食物アレルギーの現状と対策～安全な生活のために～」講師, 土佐市特別養護老人ホームとさの里, 2013年7月16日.

3. 土佐市主催 とさし 夏休み科学☆ものづくり体験ツアー『「生活の中の科学」～食を中心として～』講師 高知県立大学池キャンパス, 2013年7月28日
4. 土佐市宇佐地区特定検診結果説明会「食生活に関するアンケート調査結果について」USA くらしおセンター, 2013年8月30日.
5. 土佐市宇佐地区特定検診結果説明会「食生活に関するアンケート調査結果について」USA くらしおセンター, 2014年1月10日.
6. ゲストスピーカー「南海地震に向けた災害食の取り組みについて」講師, 愛媛大学教育学部, 2014年1月20日.

【その他】

1. おいしく減塩「即席カップ麺の減塩対策」監修：土佐ガス Life NAVI, 秋号 pp5-6, 2013
2. 学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者

V. 研究助成

科学研究費補助金 若手研究 (B) : 平成 25-26 年度「牛乳由来ペプチドはアレルギー症状及び発症を抑制できるのか」

I. 教育活動

【学部】

- ・給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ
- ・給食経営管理臨地実習
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・環境衛生学実習
- ・管理栄養士総合演習Ⅰ
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・卒業研究
- ・管理栄養士国家試験対策講座(オムニバス)

II. 研究活動

【学会発表】

1. 島田郁子, 豊福肇, 沼田聡, 田中守, 廣内智子, 日佐和夫: 給食経営管理実習における衛生管理レポートの分析, 第62回日本食品保蔵科学会(山形)2013年6月15~16日
2. 沼田聡, 島田郁子: 授業アンケートを活用した実践的な給食経営管理実習の内容検討(第3報), 第9回日本給食経営管理学会学術総会(千葉)2013年11月9~10日
3. 島田郁子, 廣井三紀, 沼田聡, 藤原沙貴, 木村優美, 倉尾美咲, 平川智依, 宇賀玲実, 松井慶子: 在宅支援を受けている人々の食生活の実態とその課題, 第9回日本給食経営管理学会学術総会(千葉)2013年11月9~10日
4. 島田郁子, 式地麻湖, 東田里穂, 杉沢江里子, 田中守, 沼田聡, 南部満, 下元和恵, 高橋正二郎: 中土佐町大野見地区における地域農業活性化の試みー学生プロジェクトを通してー, 第59回四国公衆衛生学会総会(高知)2014年2月6~7日

III. 委員会活動

1. 健康長寿センター運営委員
2. 災害対策プロジェクト委員
3. 広報専門委員
4. 臨地実習委員
5. 学年副担当(2010年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養食糧学会会員
2. 日本栄養改善学会会員
3. 日本給食経営管理学会会員
4. 公益社団法人日本栄養士会会員
5. 公益社団法人高知県栄養士会会員

【講演・講習会等】

1. 生き生きサポートセンターうえるば高知・高知福祉機器展実行委員会・社会福祉法人高知県社会福祉協議会主催「おいしい災害食のススメ～東日本大震災の経験に学んで～」講師 ふくし交流プラザ(高知)2013年6月15~16日
2. 土佐市主催 とさし 夏休み科学☆ものづくり体験ツアー『「生活の中の科学」～食を中心として～』講師 高知県立大学池キャンパス(高知)2013年7月28日

3. RKC 高知放送主催「子育て応援団 すこやか 2013」高知ちばさんセンター（高知）2013 年 7 月 27～28 日
4. 健康長寿センター主催「認知症についてどのくらいご存知ですか？」香美市立中央公民館（高知）2013 年 11 月 23 日
5. 健康長寿センター主催「地域医療フォーラム 2013～自宅で最期を迎える～」高知 RKC ホール（高知）2013 年 11 月 30 日
6. 健康長寿センター主催「介護疲れを癒そう！」佐川町健康福祉センターかわせみ（高知）2013 年 12 月 21 日

【その他】

学生プロジェクト立志社中「それいけ！大野見エコ米～No Rice No Life～」指導者

I. 教育活動

【学部】

- ・臨床栄養学実習 I
- ・臨床栄養学実習 II
- ・臨床栄養学臨地実習 I
- ・臨床栄養学臨地実習 II
- ・総合演習 I (管理栄養士)
- ・栄養と疾患 (共通教養)
- ・地域実践栄養学臨地実習
- ・環境衛生学実習
- ・健康情報論実習
- ・食と介護実習
- ・卒業研究

II. 研究活動

【学会発表】

1. 水島直子, 長瀬貴子, 濱田結花, 森真由子, 高松和永: 糖尿病患者の食習慣と食嗜好についての検討, 第 17 回日本病態栄養学会年次学術集会, 大阪 (2014)
2. 荒牧礼子, 石川麻衣, 首藤ひとみ, 水島直子, 池田光徳: 小学校児童における生活習慣の現状および健康管理の意識強化を目的とした習慣づくりに関する項目の検討, 第 20 回日本未病システム学会学術総会, 東京 (2013)
3. 水島直子: 糖尿病患者の食習慣についての検討, 第 29 回高知糖尿病チーム医療研修会, 高知 (2013)

III. 委員会活動

1. 入試監査委員
2. 臨地実習委員
3. 管理栄養士国家試験対策委員
4. 学年副担当 (2013 年度入学生)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 健康栄養連携部会 慢性腎臓病 (CKD) 食事療法手引き作成委員
2. 公益社団法人高知県栄養士会会員
3. 公益社団法人日本栄養士会会員
4. 日本病態栄養学会会員
5. 日本静脈経腸栄養学会会員
6. 日本栄養改善学会会員

【講演・講習会等】

1. 公益社団法人高知県看護協会受託事業 (実施主体:高知県) 専門分野 (糖尿病) における質の高い看護師育成事業 講義「食事療養の支援のための基本」, 高知県看護協会, 2013 年 9 月 9 日
2. こうち子育て応援フォーラム 2013 における親子でスリム教室, イオンモール高知, 2013 年 11 月 4 日
3. 慢性腎臓病 (CKD) 料理教室スタッフ

I. 教育活動

【学部】

- ・調理学実習 I
- ・調理学実習 II
- ・調理学実習 III
- ・調理科学実験
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・生体科学実験・実習
- ・環境衛生学実習

【非常勤】

- ・高知学園短期大学生活科学学科 調理学実習 III
- ・RKC調理師学校 食文化概論

【非常勤】

- ・高知学園短期大学生活科学学科 調理学実習 III
- ・RKC調理師学校 食文化概論

II. 研究活動

共著 平成 26 年度版ファミリー日誌, 全国農林統計協会連合会 p. 112-113, 260 (2013. 10. 31)

III. 委員会活動

1. 学年副担当 (2011 年度入学生)
2. 入試監査委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 嶺北地区アクションプラン嶺北高校「Reihoku Youth Neighbors」新商品開発への協力
2. しまんと美野里「栗パウダー」商品開発協力
3. 高知県水産物消費拡大事業委託業務公募型プロポーザル審査委員
4. 高知県水産物消費拡大検討会参加
5. 健康栄養連携部会 慢性腎臓病 (CKD) 食事療法手引き作成委員
6. よい食生活をすすめるネットワーク役員
7. 土佐伝統食研究会会員
8. 公益社団法人日本栄養士会会員
9. 日本栄養改善学会会員
10. 社団法人日本家政学会会員
11. 社団法人日本調理科学会会員

【講演・講習会等】

1. 日本脂質栄養学会 市民公開講座「土佐の伝統食・魚食」高知県民文化ホール(グリーン)2013年9月7日
2. 第3回中央西地区食生活改善推進協議会研修会「高知の伝統食について」佐川町健康福祉センターかわせみ元気ホール 2014年3月11日
3. 高知県水産物 PR キャンペーン「親子おさかな料理教室」高知市中央卸売市場 2013年8月3日, 10月5日, 11月2日, 12月7日, 2014年2月1日
4. ソーレまつり 2014 親子でご飯づくり～魚料理をつくってみよう～2014年1月25日

助手 **川村 真美 (KAWAMURA Mami)**

I. 教育活動

【学部】

- ・食品学実験
- ・食品衛生学実験(オムニバス)
- ・地域公衆栄養学実習
- ・地域公衆栄養学臨地実習

II. 研究活動

【学会発表】

1. 小築康弘, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 大里(笹田)怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸: 「発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果」第 67 回日本栄養・食糧学会大会(名古屋市), 2013 年 5 月
2. 川村真美, 川北浩久, 前川美智子, 渡邊浩幸: 「カヤ種子タンパク質の抽出と加工食品への応用」第 67 回日本栄養・食糧学会大会(名古屋市), 2013 年 5 月
3. 伊藤幸彦, 奥原康英, 中島友里, 喜瀬光男, 川村真美, 渡邊浩幸: 「米糠由来ステロール配糖体が脂質代謝、糖代謝に及ぼす影響」日本脂質栄養学会第 22 回大会(高知市), 2013 年 9 月
4. 小築康弘, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 笹田怜子, 佐藤利次, 渡邊浩幸: 「発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果」日本脂質栄養学会第 22 回大会(高知市), 2013 年 9 月

【その他】

1. 第 34 回日本肥満学会大会 参加, 東京都, 2013 年 10 月 11~12 日
2. ものづくり総合技術展 本学展示ブース準備運営協力, 高知市, 2013 年 11 月 21~23 日(健康栄養学部学生提案による高知ヤマザキ試作パンの試食を実施)

III. 委員会活動

1. キャリア支援部会員
2. 総合情報センター運営委員・情報処理部会員・図書部会員
3. 学部就職支援委員
4. 学年副担当 (2012 年度入学生)
5. 臨地実習委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 公益社団法人 日本栄養士会会員
5. 公益社団法人 高知県栄養士会会員
6. 第 22 回日本脂質栄養学会運営協力 (高知市 2013 年 9 月)

高知県立大学健康栄養学部 学部報 第4号
平成25(2013)年度版

発行日：平成26年7月1日

編集：高知県立大学健康栄養学部 学部報編集委員

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

電話 (088) 847-8700(代)